

<2021年度>

第3回理事会議案書

2021年 9月 28日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2021年度 第3回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 704 号室
日 時： 2021 年 9 月 28 日 (火)
13:00～16:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 報告事項

(1) 国土交通大臣認定工場の品質管理体制保持状態確認について - [理 21-3-報 1] (p3)

(2) 鋼材等材料入手難への対応について ----- [理 21-3-報 2] (p4-7)

(3) 委員会等活動状況報告

- ①運営委員会 ----- [理 21-3-報 3]① (p9-12)
- ②技術委員会 ----- [理 21-3-報 3]② (p13-16)
- ③災害時のBCP策定WG ----- [理 21-3-報 3]③ (p17-23)
- ④事業継承対策WG ----- [理 21-3-報 3]④ (p25-26)
- ⑤日報デジタル化検討WG ----- [理 21-3-報 3]⑤ (p27)
- ⑥リモート製品検査検討WG ----- [理 21-3-報 3]⑥ (p29-30)
- ⑦ホームページ改造WG ----- [理 21-3-報 3]⑦ (p31-34)

(4) その他 ----- [理 21-3-報 4] (p35-45)

6. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 21-3-他 1] (p47-51)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 21-3-他 2] (p53)

(3) 主要会議日程 ----- [理 21-3-他 3] (p54)

(4) 支部報告 ----- [理 21-3-他 4] (p55-72)

(5) その他

7. 閉会の辞

以上

報 告 事 項

2021.9.28

全構協 技術部

2021年度工場認定条件の保持状況確認 調査結果まとめ

1. 目的

鉄骨の工場認定制度において、性能評価を受けた品質管理体制に変更が生じた場合には、その旨を1ヶ月以内に性能評価機関に届出ることになっている。全構協の構成員がこの報告を確実にしているかを確認することにより、品質管理体制の保持を図り、工場認定制度および鉄骨製品の信頼性確保を図ることを目的とする。

2. 対象工場

全構協の構成員の大臣認定を受けた鉄骨製作工場で、性能評価取得後3年目の認定工場を対象とする。(初年度[2019年度]のみ全認定工場を対象)

3. 調査時期

2021年7月12日～8月31日。

4. 確認方法

(1) 全構協の全構成員の大臣認定工場に対して、所属組合を通じて以下の内容に関する確認書の提出を依頼する。提出先は所属組合事務局とする。

- ① 性能評価時からの品質管理体制の変更の有無 <変更 無 ・ 変更 有>
 ② 変更有の場合の性能評価機関への報告書提出状況 <提出済 ・ 未提出>

(2) 各組合事務局は、報告書未提出の工場に対して速やかな措置を行うよう指導する。

(3) 各組合事務局は、認定工場リストに確認結果を記入し、全構協事務局に提出する。

5. 調査結果 (9月13日時点)

調査対象工場数(A): 291

回答数(B)	288		
〈回答率B/A:99%〉	管理体制変更なし	217	
	管理体制変更あり(d)	71	〈変更率d/B:25%〉
	変更報告書提出済(e)	52	〈提出率e/d:73%〉
	変更報告書未提出	19	
未回答(C)	3		

6. 調査後のフォロー

・未回答の事業者(3社)及び変更報告書未提出の事業者(19社)に対しては、必ず提出するよう各県組合を通じて繰り返し指導する。

以上

2021年9月28日

鋼材等材料入手難への対応について

1. 材料入手難の実態（ファブの生の情報）

(1) 近畿支部：「悪化する鋼材環境の改善・解決に対する嘆願書」参照

2. 材料メーカーに対するヒアリング 及び 安定供給協力要請

(1) 対象品種・メーカー、訪問予定等

品種	メーカー名	訪問予定日時	当方参加者(※)・備考
鋼材 (厚板、H形鋼)	J F E スチール	10月4日・月 14:30	(A)
	日本製鉄	10月5日・火 11:00	(A)
コラム	J F E スチール	10月4日・月 14:30	(A)
	日鉄建材	10月5日・火 14:30	(A)
	セイケイ	10月6日・水 10:00	(B)
高力ボルト	日鉄ボルテン	10月5日・火 13:00	(A)
	日本ファスナー	10月7日・木 10:00	(B)
	神鋼ボルト	10月8日・金 10:00	(B)
その他	J F E 建材	10月5日・火 16:00	(A)

※：当協会参加者 (A)：・米森会長 ・永井・大島・山本副会長 ・小貫専務理事

(B)：・小貫専務理事 ・大橋常務理事

(2) ヒアリング事項（説明いただきたい事項）

別紙 参照

3. 材料メーカーへのヒアリング結果をふまえた今後の対応(案)

(1) 対ゼネコン

(2) 対設計会社

(3) 対行政機関

以上

別 紙

2021年 9月 ○日

株式会社 ○○
○○○○○○様

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 米森昭夫

材料（ ）の安定供給のお願い

謹啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、数か月前より、当協会会員事業者から「鉄鋼メーカー、鋼材問屋等に注文を引き受けてもらえない」「納期が極端に長期化している」「そのためにゼネコンとの商談が決裂し受注できない」等、鋼材需給の逼迫感、品薄感、入手難を訴える切実な声があがっており、その深刻度は日ごとに高まっております。

つきましては、鋼材の安定供給のお願い申し上げますとともに、併せて、このような状況に至った要因、今後の見通し等についてご説明いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、需給逼迫状況が短期間で収束しない場合に、マイナス影響を最小限にするために必要な方策等についてご意見をいただければ幸いに存じます。

ご多用の中、誠に恐縮に存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

【記】

具体的には次の項目についてご説明をお願いします。

鉄鋼メーカー用

1. 需給逼迫要因及び今後の見通し
 - (1) 国際鉄鋼需給について
 - 中国の動向
 - ・鉄鋼生産量
 - ・国内需要
 - ・輸出
 - 東南アジア諸国(中国以外)
 - ・韓国鉄鋼メーカーの状況(生産、輸出)
 - ・各国国内需要
 - 米国
 - ・国内需要
 - 欧州
 - ・域内需要
 - (2) 日本国内の鉄鋼需要動向(産業別: ・自動車 ・造船 ・機械 ・その他)
 - (3) 国内鉄鋼メーカーの生産状況
 - 最近の生産量(粗鋼及び主要品種) [設備集約と生産量への影響を含む]
 - 粗鋼配分(国内/輸出別生産量、品種別生産量)の考え方、方針等
 - 紐付き、店売り 各々の扱いの考え方
 - 今後の見通し
 - ・増産の可能性
 - ・収束の見通し(時期等)
2. マイナス影響を最小限にするために必要な方策等について
 - (1) 鉄骨業界及び各事業者に対する要望事項(鉄骨業界がやるべきこと)
 - (2) 関連他業界、行政機関等に働きかけるべき事項
 - (3) その他
3. 価格高騰の背景 今後の見通し

以上

コラムメーカー、ボルトメーカー用

1. 需給逼迫要因及び今後の見通し
 - (1) 日本国内の需要動向(産業別: ・建築 ・土木 ・その他)
 - (2) 御社及び国内他メーカーの生産状況
 - (3) 素材鋼材の供給状況
 - ・国内高炉材
 - ・国内電炉材
 - ・輸入材
 - (4) 今後の見通し
 - ・増産の可能性
 - ・収束時期(時期等)
2. マイナス影響を最小限にするために必要な方策等について
 - (1) 鉄骨業界及び各事業者に対する要望事項(鉄骨業界がやるべきこと)
 - (2) 関連他業界、行政機関等に働きかけるべき事項
 - (3) その他
3. 価格高騰の背景 今後の見通し

以上

一般社団法人
全国鐵構工業協会
会長 米森 昭夫 殿

2021年9月3日

悪化する鋼材環境の改善・解決に対する嘆願書

現在、鋼材を取り巻く環境の悪化（価格高騰、調達難、納期の長期化）により、近畿地区の鉄骨メーカーは、企業経営への悪影響を多大に受けており、特に中小規模の鉄骨メーカーは倒産の危機に直面するほどの状態にあるというのが実情です。この事態を解決・改善するために行動を起こして頂けるよう嘆願致します。

記

現在のこの事態は、2004年に全国鐵構工業協会が経済産業省製造産業局へ「鋼材の価格・供給の安定に関するお願い」を陳情した時以来の事態といえます。さらに今回は価格の上昇幅、納期期間の長期化に関して当時をはるかに上回る規模となっており、かつてない異常な状況下に置かれているといえます。

価格高騰に関して、ここ1年間で近畿地区鉄骨メーカーの購入価格は主力鋼材のH形鋼ベースサイズで3万円から4万円、同コラムBCRで5万円前後の上昇（いずれも9月頭現在）。他の鋼材関係も同様の上げ幅にあり、今後、年内にもさらに2万円前後の上昇が予測されています。この短期間での急激な購入価格上昇分の鉄骨受注価格への転嫁は難しく、加工賃の圧迫につながっています。さらに、短期間に上昇を続けていることで、契約時と鋼材調達時で大幅な価格差が生じ、元請けとのトラブルやさらなる加工賃の圧縮に繋がっています。

納期の長期化や調達難においては、現在、コラムBCRで約6カ月、同BCPに至っては10カ月以上の状況。H形鋼に関しては納期の長期化は今のところ回避できていますが、サイズによっては歯抜けがあり、この状態が進むと納期の長期化は今後避けられないとみられています。これらにより、元請けより話があってから、加工までの期間が短い中小規模鉄骨メーカーは鋼材の調達ができず、受注を断念するケースが増加してきています。中小規模鉄骨メーカーにおきましてはより一層、仕事ができないことによる倒産の危機が日増しに高まってきているというのが実態です。

全国鐵構工業協会
近畿支部

支部長 出雲 津芳



2021.9.28

2021年度 会員企業業績調査(2020年度分)について(実施概要)**調査概要**

- 1) 調査対象 構成員工場 2,259社(一部組合加入会社を含む)
- 2) 調査期間 2021年7月19日(月)～8月4日(水)
- 3) 有効回答企業数

	S・H	M	R	J	未認定	計
調査対象数(社)	284	824	600	45	506	2,259
調査票回答数(社)	185	478	295	14	114	1,086
調査票回答率(%)	65.1	58.0	49.2	31.1	22.5	48.1

4) 設問概要

- ①グレード別従業員数(男女別、女性活躍)
- ②2020年度完成売上状況(売上トン数、売上額)
- ③2020年度の決算状況(粗利益、営業利益)
- ④経営上の課題
- ⑤法定福利費
- ⑥労働環境(残業時間、休日日数等)
- ⑦事業継承(事業継承に対する問題認識状況等)

別紙I-①

グレード別決算状況(未認定含む)

2021 S/H185 M478 R295 J14 未114 合計 1,086/2,259
 2020 S/H200 M487 R304 J16 未120 合計 1,127/2,222

□売上総利益(粗利益)

グレード	黒字		収支均衡		赤字	
	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査
S/H	94%	(▲4%) 90%	3%	(+4%) 7%	3%	(±0%) 3%
M	84%	(▲12%) 72%	10%	(+8%) 18%	6%	(+4%) 10%
R	62%	(▲5%) 57%	25%	(+1%) 26%	13%	(+4%) 17%
J	75%	(▲18%) 57%	6%	(+1%) 7%	19%	(+17%) 36%
未認定	54%	(▲4%) 50%	26%	(+4%) 30%	20%	(±0%) 20%
総平均	77%	(▲8%) 69%	14%	(+5%) 19%	9%	(+3%) 12%

□営業利益

グレード	黒字		収支均衡		赤字	
	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査
S/H	92%	(▲7%) 85%	3%	(+5%) 8%	5%	(+2%) 7%
M	78%	(▲11%) 67%	13%	(+4%) 17%	9%	(+7%) 16%
R	57%	(▲7%) 50%	24%	(+4%) 28%	19%	(+3%) 22%
J	50%	(+7%) 57%	19%	(▲12%) 7%	31%	(+5%) 36%
未認定	51%	(▲8%) 43%	28%	(+2%) 30%	21%	(+6%) 27%
総平均	72%	(▲9%) 63%	16%	(+4%) 20%	12%	(+5%) 17%

※()内は、2020年調査との比較

地区別売上総利益(粗利益)状況(未認定含む)

	黒字		収支均衡		赤字	
	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査
北海道	86%	77% (▲9%)	11%	15% (+4%)	3%	8% (+5%)
東北	73%	70% (▲3%)	16%	16% (±0%)	11%	14% (+3%)
関東	73%	63% (▲10%)	16%	23% (+7%)	11%	14% (+3%)
北陸	84%	76% (▲8%)	6%	13% (+7%)	10%	11% (+1%)
中部	68%	65% (▲3%)	22%	20% (▲2%)	10%	15% (+5%)
近畿	83%	69% (▲14%)	11%	22% (+11%)	6%	9% (+3%)
中国	80%	71% (▲9%)	11%	19% (▲8%)	9%	10% (+1%)
四国	82%	74% (▲8%)	13%	18% (+5%)	5%	8% (+3%)
九州	80%	73% (▲7%)	13%	16% (+3%)	7%	11% (+4%)
全国平均	77%	69% (▲8%)	14%	19% (+5%)	9%	12% (+3%)

※()内は、2020年調査との比較

地区別営業利益状況(未認定含む)

	黒字		収支均衡		赤字	
	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査	2020調査	2021調査
北海道	84%	75% (▲9%)	11%	20% (+9%)	5%	5% (±0%)
東北	63%	61% (▲2%)	19%	17% (▲2%)	18%	22% (+4%)
関東	72%	57% (▲15%)	15%	22% (+7%)	13%	21% (+8%)
北陸	80%	69% (▲11%)	8%	16% (+8%)	12%	15% (+3%)
中部	64%	60% (▲4%)	22%	21% (▲1%)	14%	19% (+5%)
近畿	80%	67% (▲13%)	12%	23% (+11%)	8%	10% (+2%)
中国	75%	63% (▲12%)	9%	18% (+9%)	16%	19% (+3%)
四国	71%	70% (▲1%)	11%	15% (+4%)	18%	15% (▲3%)
九州	74%	66% (▲8%)	17%	18% (+1%)	9%	16% (+7%)
全国平均	72%	63% (▲9%)	16%	20% (+4%)	12%	17% (+5%)

※()内は、2020年調査との比較

2021年9月29日

全構協構成員向けフィットテスト実施者講習会の開催に関する検討依頼

技術委員会安全衛生WGで溶接ヒューム関連の対応について検討して参りました。前回の理事会にて報告致しましたように、各支部地域での全構協構成員向けフィットテスト実施者講習会の開催について中災防と協議を進めました結果、今年度中に開催場所、受講者数の確認が取れば、来年度には開催できる状況です。各支部の要望に応えられる形での開催を致したいと存じますので、下記内容のご検討頂ければ幸いです。

ご検討内容

1. 受講者数の概算

各都道府県組合での受講予定人数

2. ご回答時期

2021年12月末を目途に技術部新村迄ご連絡頂ければ幸いです。

開催方法

講習内容：学科講習 1.5 時間＋実技講習 3.5 時間

講師：中災防派遣の専門家（実技では 10 名当たり 1 名必要）

開催場所：原則各支部 1 か所（1 日 10～50 名を想定）

受講者が 10or20 名単位で確保できれば複数か所を連続開催も検討

会場要件：会議室や原寸場などで可（6mx9m 程度で 10 名受講）

機材教材：中災防が準備

講習費用：19,800 円（中小規模事業場割引の場合）

全構協からの補助金については検討中

全構協の費用負担：講師の旅費・宿泊費、会場費用の応分負担

なお、フィットテストをどのような体制で実施するかの判断の為に、フィットテストに関する情報は、逐次ご連絡差し上げたいと存じます。

- ・フィットテスト実施者講習会の内容。定量法、定性法の難易度など
- ・フィットテスト外注の可能な業者の情報収集
（マスクメーカーは対応不可の情報あり。検査会社が対応するかなど）
- ・マスク、フィットテストの機器などの情報

以 上

2022 年 ○ 月 △ 日

一般社団法人 全国鐵構工業協会 御中

各 都 道 府 県 組 合 名

○○○○(理事長、会長名) 印

「特定化学物質作業主任者」資格取得補助金のご請求について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび標記に関する補助金を、下記のとおり支出頂きたくご依頼申し上げます。

敬具

記

請求金額	¥	0
------	---	---

【内訳】

「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」を受講し修了証を受けた者

0 名 × 5,000円 = 0 円

受講修了者名簿参照(構成員会社当たり1名とする)

《振込先銀行》

○○○○○○銀行 支店
普通預金 No. ○○○○○○○
○○△△××○○ (フリガナ)

202○年 ○ 月 △ 日

「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」受講修了者名簿

各都道府県組合名

No	会社名	名前	交付日	確認欄
1	(株)○○	○○○○	2021/00/00	○
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				

A

(株) 全国鐵構工業

事業継続計画(案)

2021年9月1日 作成
年 月 日 改訂(第 版)

A

目次	様式類	頁
1. 基本方針	様式 02 BCP の基本方針	1
2. BCP の運用体制	様式 03 BCP の策定・運用体制	2
3. 「主たる事業」と復旧目標	様式 06 「主たる事業」に係る情報 様式 08 「主たる事業」影響度評価フォーム	3
4. 財務診断と事前対策計画	様式 18 保険情報リスト 様式 09 事前対策のための投資計画	12
5. 緊急時における BCP 発動		
(1) 発動フロー	発動フロー 活動チェックと実施内容メモ書き	14
(2) 避難	様式 10 避難計画シート	19
(3) 情報連絡	様式 11 主要組織の連絡先 様式 12-1 従業員連絡先リスト 【一覧】 様式 12-2 従業員連絡先リスト 【個別用】 様式 4 従業員携帯カード 様式 14 電話/FAX 番号シート【自社用】 様式 15 主要顧客情報	20
(4) 事業資源	様式 16-1 「主たる事業」に係るボトルネック資源（設備） 様式 16-2 「主たる事業」に係るボトルネック資源（コンピューター） 様式 17-1 「主たる事業」に必要な供給品目情報 様式 17-2 主要供給者/業者情報【供給品目別】 様式 19 災害対応用具チェックリスト	27
(5) 地域貢献	様式 20 地域貢献活動	34
自己診断結果	自己診断チェックリスト 様式 05 複数企業連携による BCP の策定・運用体制（参考）	35

A

↑ 左上のA～Cは、入力 of 優先順位です。

[様式 02]

BCP の基本方針

- 当社において BCP（事業継続計画）を策定・運用する目的とともに、当社の特性を踏まえ、緊急時に事業継続を図る上で要点となり得る事項は以下のとおりである。

1. BCP 策定・運用の目的：

①顧客にとって

顧客の生産計画への悪影響を抑える。

②従業員にとって

従業員と家族の安全と雇用を守る。

③地域にとって

地域の生活と経済へ貢献する。

④その他

←記入をするのは「青字」部分です。構成員各社の状況に合わせて記入し、以降の書式を完成させて下さい。

2. 緊急時に事業継続を図る上での要点：

①企業同士の助け合い

地元各県組合企業が共に BCP を学び、緊急時には助け合う。

②商取引上のモラル

緊急時であっても協力企業や納品業者への支払いは滞らせない。

③地域への貢献

一住民

④公的支援制度の活用

災害時には国や自治体に設置される特別相談窓口を活用する。

⑤その他

3. BCP 及び災害計画の更新時期：毎年 2 月（年 1 回更新）

A

[様式 03]

BCP の策定・運用体制

- 当社において、BCP（事業継続計画）を策定する体制、平常時に BCP の運用を推進する体制、及び緊急時に BCP を発動し継続対策を推進する体制は以下のとおりである。
- 各責任者は、経営者自らがあたるべきである。なお、サブリーダー、緊急時の体制におけるそれぞれの代行者について、以下のように定めることとする。

1. BCP の策定体制：

①責任者 千代田 太郎（社長）

②サブリーダー（必要に応じて複数名）

中央 二郎、港 三郎

2. 平常時における BCP の運用推進体制：

①責任者 千代田 太郎（社長）

②サブリーダー（必要に応じて複数名）

中央 二郎、港 三郎

③連携する取引先企業や協力会社 ○○設計、○○建設、○○商事、○○鉄工

④一緒に取組む組合等の組織 ○○鉄骨工業会

⑤BCP 運用の対象者 従業員全員で運用する。

3. 緊急時における BCP の発動体制：

①責任者 千代田 太郎〔代行者〕 中央 二郎

②顧客・協力会社担当サブリーダー 中央 二郎〔代行者〕 目黒 四郎

③事業資源担当サブリーダー 港 三郎〔代行者〕 渋谷 五郎

④財務担当サブリーダー 千代田 太郎〔代行者〕 目黒 四郎

⑤従業員支援担当サブリーダー 港 三郎〔代行者〕 渋谷 五郎

A

様式 06] (/)

主たる事業に係る情報

- 当社における「主たる事業」及びそれに係る情報は以下のとおりである。

主たる事業	建築用ビル鉄骨の製作と建て方工事	
主たる事業の社内責任者	千代田 太郎	
主たる事業中断の場合の損失額 (含む違約金等)	売上高 55 百万円/月 (2021 年平均) (うち、10%は納期遅れに対する契約上の違約金)	
主たる事業による製品等の納入・提供先 (複数ある場合は主要な企業を記載)	会社名	〇〇設計、〇〇建設
	主要連絡先 (電話番号 等)	03-3333-3333
	社内担当者	大田 六郎
主たる事業に必要な原材料等の入手先 (複数ある場合はすべてを記載)	会社名	〇〇商事、〇〇鋼板、〇〇シャーリング
	主要連絡先 (電話番号 等)	045-555-5555
	社内担当者	世田谷 七郎
目標復旧時間 (括弧内の適当な時間単位に○を付ける)	大規模地震 4 (時間・日・ <u>週間</u> 程度) その他 1 (時間・日・ <u>週間</u> 程度)	
主たる事業中断の可能性のある災害等 (各支部、県、各社の状況により設定の必要があります)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震 (例：東海地震：8 都県 157 市町村 東京都、神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重) ・大川の氾濫、工場の火災等 	
備考		

A

[様式 06] (/)

○「主たる事業」(例：建築用ビル鉄骨の製作と建て方工事)の継続に必要な社内の重要業務 (該当するものすべてを記載)

重要業務	重要業務に必要な資源		重要業務の 責任者	責任者 連絡先	備考
	人手による一部代替が 不可能な資源	人手による一部代替が 可能な資源			
○○商事等からの材料 の調達	材料、その搬送手段(輸 送会社)		港 三郎	090-9999-9999	
加工機械の稼働	加工機械、加工データ、電力 切削油		港 三郎	090-9999-9999	
従業員の出勤	出勤手段	従業員OBの招集、協力会社へ の生産移管	港 三郎	090-9999-9999	
生産計画に関する ○○建設との調整	連絡手段	担当者	中央 二郎	090-9999-9999	
○○建設への製品 搬送(トラック)	自社トラック2台、燃料、道路 交通	運転手	港 三郎	090-9999-9999	

(※「重要業務」の枠数が足りない場合は、本ページを必要分コピーして利用すること。)

[様式 08]

事業継続に係る各種資源の代替の情報

- 緊急事態発生後に「主たる事業」を復旧させるための代替方針に関する情報を整理する。

① 情報連絡の拠点となる場所			
拠点となる場所 (住所)	社長の自宅（東京都城東区一番町 1-1）		
建物所有者/管理者	千代田太郎		
第一電話番号	03-4444-5555	予備電話番号	
その他連絡先 (携帯電話、PHS 等)	070-7777-7777	eメール	tarou@bcp.co.jp tarou@keitai.ne.jp
連絡すべき内容	顧客・取引先との連絡 従業員とその家族の安否確認 取引銀行との連絡		
当該場所に行くべき従業員	千代田太郎、中央二郎、港三郎		
備考			

○当該場所までの地図（必要と思われる場合）

2021年9月21日

第4回 事業継承対策WG 議事次第

1. 日 時 2021年9月16日(木) 15時～17時(予定)
2. 場 所 Web (Zoom) 会議
3. 出席者 出雲リーダー
村岡メンバー、渡邊メンバー、大井メンバー
(事務局) 大橋常務、平井、鈴木
4. 議事次第
 - 1) 出雲リーダー挨拶
 - 2) 事業継承に関するアンケート(業績調査)結果報告
 - 3) 今後の進め方 <検討・協議の方向性>について
 - ① 課題、テーマの抽出・検討 *アンケート結果を踏まえて
 - ② 当WGの検討の方向性(成果物、提言、情報提供 等々)
 - i. 成果物(まとめ)のイメージ (*成果物作成可否含め協議)
 - ii. 情報提供、相談窓口の紹介
 - ③ 今後の検討予定、スケジュール
 - 4) その他
次回WG日程 等

以上

事業継承に関するアンケート結果

設問	内容	グレード別集計(実数)					グレード別集計(比率)					合計											
		S/H	M	R	J	未	S/H	M	R	J	未												
		合計					合計																
設問14	今後の事業継承(後継者対応)を想定していますか？	0	無回答				0					0%										0%	
	1	想定している	96	258	130	6	43					53%	55%	47%	46%							41%	51%
	2	既に経験、当面想定なし	41	121	53	1	21					23%	26%	19%	8%							20%	23%
	3	想定していない	44	89	93	6	40					24%	19%	34%	46%							38%	26%
	合計		181	468	276	13	104					100%	100%	100%	100%							100%	100%
設問15	設問14で①と回答された方にお尋ねします。事業継承(後継者対応)があるとするれば、いつ頃ですか？	0	無回答									0%	0%	0%	0%							0%	0%
	1	足元で直面している	10	40	13	2	7					11%	15%	10%	33%							16%	13%
	2	5年以内	25	84	42	1	12					26%	32%	31%	17%							27%	30%
	3	10年以内	32	68	43	1	15					34%	26%	32%	17%							33%	29%
	4	10年より先を想定	28	73	37	2	11					29%	28%	27%	33%							24%	28%
	合計		95	265	135	6	45					100%	100%	100%	100%							100%	100%
設問16	設問14で①と回答された方にお尋ねします。事業継承に関する不安、悩み等があるとするれば次のどれですか？(複数回答可)	1	後継者問題	37	87	66	2	9				39%	33%	50%	40%							26%	38%
	2	株式関連	35	82	30	1	12					37%	31%	23%	20%							34%	30%
	3	事業内容関係	16	70	25	2	11					17%	27%	19%	40%							31%	23%
	4	その他	7	24	11	0	3					7%	9%	8%	0%							9%	8%
	合計		95	263	132	5	35					100%	100%	100%	100%							100%	100%
設問17	設問14で①と回答された方にお尋ねします。事業継承に関する相談先や情報はありますか？	0	無回答									0%	0%	0%	0%							0%	0%
	1	相談先や情報がある	78	178	63	3	22					92%	79%	58%	60%							67%	75%
	2	相談先や情報がない	7	48	46	2	11					8%	21%	42%	40%							33%	25%
	合計		85	226	109	5	33					100%	100%	100%	100%							100%	100%

2021.9.28

日報デジタル化検討 WG 報告

1. WGの活動進捗

日程	活動	内容
2021年 2月5日	第1回 WG	日報デジタル化の目的と WG の目標について検討。 会員に事例調査アンケートを取り検討の参考にすることに。
2月24日 ～3月19日	会員アンケート	日報デジタル化の事例調査アンケート実施。(121社から回答) ⇒入力手段・システム・データ活用方法等の情報を入手。
4月7日	第2回 WG	アンケートの結果分析、市販日報アプリの調査結果報告。
5月18日	第3回 WG	デジタル日報活用会社に導入の方法や課題についてヒアリング。 ①キクシマ(神奈川県) ②影山鉄工所(静岡県)
7月8日	第4回 WG	成果品のイメージの検討、「原価早わかりシート」の内容再確認。
8月26日	第5回 WG	市販アプリの試用調査計画の検討。
9月6日 ～10月22日	アプリ試用調査	「ニッピー」、「就業役者」、「Ni.+日報」の3アプリについて、委員と関係者計10名で試用版を実際に使って、機能や使い勝手を評価中。

2. 試用調査対象アプリの概要

鉄骨製作工場の作業日報に適した市販アプリとして、以下のアプリを試用調査中。

アプリ名	ニッピー	就業役者	Ni.+日報
販売	(株)クラフトーチ (影山鉄工所の子会社)	(株)システムサポート	日興テクノス(株)
開発	影山鉄工所+クラフトーチ	システムサポート	日興テクノスと(株)キクシマの共同開発
入力機器	PC、タブレット、スマホ	PC、タブレット、スマホ	PC、タブレット、スマホ
特徴	・Fabが自社開発したアプリ ・機能を工数管理に絞っているため入力が非常に簡単 ・同僚にメッセージを送る「ありがとう」機能	・勤怠と工数管理が可能で36協定等の法令対応 ・使わない機能は省きシンプルな入力画面。 ・他の市販アプリより安価。	・鉄構業向け専用システム ・日報データを核に工数管理、勤怠管理、顧客・現場・営業とも連携 ・業務に合わせて項目がセットできて使いやすい
難易度	簡単	中程度	高度

3. 成果品のイメージ

以下の小冊子を制作し、全構協ホームページで公開する。

鉄骨製作工場における日報デジタル化の手引き

- ・日報デジタル化の意義とメリット
- ・鉄骨製作工場に適した市販日報アプリの紹介
- ・日報デジタル化の道筋と導入事例紹介
- ・日報データの原価管理への活用方法(原価早わかりシートとの連携)

以上

〈 2021 年度 〉

リモート製品検査意見交換会議事録（案）

1. 日 時 2021年7月5日（月）15：00～17：00
2. 場 所 全構協第1会議室 + Web参加
3. 出席者 （日建連）犬伏、鶴（清水建設）、三村（竹中工務店）
（敬称略） Web：吉澤（鹿島）、鈴川（浅沼）、正田（日建連事務局）
（全構協）リモート製品検査WG：佐藤リーダー、西山、岩永各委員
（事務局）新村、高野、瓜生

4. 議事要旨

リモート製品検査に関して日建連と全構協（リモート製品検査WG委員）各委員の自己紹介後、意見交換が行われた。詳細は以下に記す。

全構協（以下、全）：コロナ対応としてリモートマニュアルの作成を進めている。構成員の中で最も多いMグレードを対象としたマニュアルとしたい。Mグレードでは3名、多くて5名ぐらいしか検査に対応できない。日建連にもご教授いただきたい。

日建連（以下、日）：各社によって検査の考え方が違う。不要不急には当たらないので出席する会社もあれば、出張を認めない会社もある。もともと検査の回数が多いのでコロナ下だけでなくリモート検査を行えるように日建連内で有志による連絡会として検討を行っている。検査の手引書のような形にしたい。検査の方法や役割を整理と、パターンを決めての掲載、事例を掲載したい。

全：ほとんどのFabはリモート検査には何が必要か、どのように行うのか分かっていないのが現状。そのため、機材は何が必要か、どのように撮影するのが良いのか、事前準備はどうしたら良いのかといったテクニックをまとめたマニュアルにしたい。

日：リモート検査ありきではないので、通常検査を前提として、どういふものならリモート検査で実施できるかという考え方を監理者が納得できるように検討していく必要がある。リモート検査を実施することはFab側が決定することはできないが、どの程度までなら対応できるかを提案することは出来る。

全：Hグレードクラスになればある程度リモート検査に対応できると思うが、MグレードクラスではJASS6で求められる検査をリモートで実施できる人員がいるFabは殆どないと思われる。特に外観検査等は非常に時間がかかるので負担が大きい。

日：リモートだと見たいところが見られないことが多く時間がかかる。設計者等は事前に確認したいところを伝えておく必要がある。

全：リモート検査では対象となる製品すべてを撮影するのは時間的に困難。5体のうち1体のみをリモート検査時にしっかりと撮影して、残り4体は第三者なりに確認してもらうので大丈夫とすることは出来るか。

日：設計監理者が認めるような仕組みを作らなくてはならない。検査対象となる製品すべてがそろっているかを確認しなければならないので全体を撮影する等の考え方を決めていかなければならない。

全：リモート検査をやったことがないF a bが客先からリモート検査をやってほしいと言われた際に対応するためのマニュアルとしたい。リモート検査を実施するかはF a b側が決めることではないので、リモート検査を要望されたときに、どの程度までなら対応できるということを示せるように、ランクに分けていくつかのパターンを提案できるとよい。

全：日建連のマニュアル案では、リモート検査を実施するためのWEB会議システムをF a b側が用意する書きぶりになっているがどうか。

日：TeamsなどのWEB会議システムはGC側が整えるので通信環境などの参加するための環境を整えてほしいという意味で書いている。開催の主体はGC側になる。撮影機材についてはGC側が準備して第三者検査に撮影を依頼する方法も考えられるが、実情はF a b側が準備して撮影することになると思われる。

日：利用するWEB会議ソフトや機材には違いがあるので操作方法など利用の仕方を全構協マニュアルに掲載するとよいかと思う。日建連の手引きにはあまり細かいところまでかけないと思われる。

制作物の作成方針

[全構協]

- ・Mグレードクラスを主とした内容とする。
- ・リモート検査を始めて実施する際に必要になることを記載する。
- ・3名、多くても5名程度で実施できる内容として作成する。
- ・最低限の環境や推奨環境を記載する。
- ・必要な機材、撮影方法、標準検査時間、事前準備、議事録の作成方法等のテクニックをまとめた内容とする。

[日建連]

- ・リモート検査に限定せず、検査とは何かといった全般的なことについてまとめる。
- ・どのような場合はリモート検査が実施できるのか、パターンを決めて掲載する。
- ・リモート検査の実施事例をまとめて掲載する。
- ・あまり細かい内容まで記載せず、手引書程度とする。

以上

2021.9.28

ホームページ改造 WG 報告

1. WGの活動進捗

日程	活動	内容
2021年 2月12日	第1回 WG	ホームページ改造の基本方針について検討。 品質管理委員会の課題「認定工場リストへの情報追加」についても本WGで検討する。
3月25日	第2回 WG	現状の掲載項目の整理と追加掲載項目の検討。
4月15日	第3回 WG	採用ポスターのランディングサイトを制作。 認定工場リストへの情報追加に関するアンケート案を作成。
6月3日	第4回 WG	アンケートを Google Form を活用した Web アンケートとする。 トップページのイメージとサイト構成案を検討。
6月30日 ～7月30日	Web アンケート	組合経由で全構成員に Web アンケートを実施。 (回答は回答者が全構協事務局に直接送信)
7月27日	第5回 WG	HP 制作会社からの追加機能の提案と見積の検討。
9月14日	第6回 WG	Web アンケート結果の検討。 サイト構成案の内容の詳細検討。

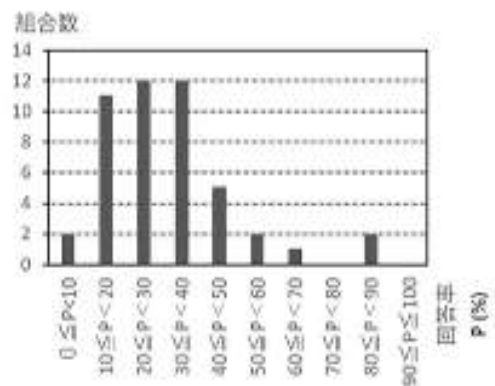
2. 認定工場リストへの情報追加に関する Web アンケート結果

全構協ホームページのアンケート

<質問1>
構成員工場の紹介コーナーに現在掲載されている情報に他に、貴社詳細情報の追加掲載を希望しますか？

<質問2>
上記質問で「希望する」と回答した方のみ、希望する追加情報の項目にチェックを入れてください。

回答：618社
回答率：28%



組合別回答率のヒストグラム

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<質問1>の回答比率

<質問2>の回答比率

⇒ <方針> 掲載希望者について、詳細情報5項目の追加掲載を可能とする。

3. ホームページ改造の方針

(1) 基本方針

- ・外部（求職者、発注者等）と内部（会員）の両方が使いやすいホームページとする。
- ・トップページを最近のトレンドに合った見やすいデザインとする。
- ・「お知らせ」の記事名に「一般向け」、「会員向け」の区別を付加する。
- ・スマホでの閲覧にも対応する。

(2) 外部向け

- ・トップページに「鉄骨の世界でともに働こう」のバナーを置き、採用ポスターのランディングサイトに誘導する。
- ・「鉄骨の資格をとろう」のバナーで、資格取得関連のコーナーに誘導する。
- ・大臣認定工場の検索コーナーで、工場の詳細情報を掲載する（希望会社のみ）。
- ・「女性が活躍する会社の紹介」等のコーナーを設ける。

(3) 会員向け

- ・ログインしなくても会員コーナーの中身の項目は見えるようにする。
- ・「経営支援ツール」、「共済制度」、「技術情報」等に整理して使いやすくする。
- ・「会議・委員会情報」、「講習会案内」等の情報を追加する。
- ・Web で会員にアンケートを取るシステムを導入する。

4. トップページのイメージ



全構協ホームページのサイト構成(案)v5

2021.9.28

項目		内容	
トップページ	グローバルナビ	全構協の紹介、事業内容、構成員の紹介、会員専用コーナー、お問い合わせ	
	写真	工場の写真や建方の写真がスライドする	
	キャッチコピー	(検討中)	
	お知らせ	会員向けと一般向けに重要なお知らせを掲載	
	パナー	鉄骨の世界でともに働こう	
		鉄骨の資格をとろう	
大臣認定工場の検索			
関連リンク			
お知らせ	頭に「一般向け」「会員向け」の区分を付ける		
鉄骨の世界でともに働こう	(採用ポスターのランディングサイト) 動画:「鉄骨ガール」、「鉄骨Female」、「信頼で築く…」		
鉄骨の資格をとろう			
鉄骨関係の資格一覧	全35資格について、実施団体、難易度、受験資格等を整理「持っていますかその資格」(愛知県組合)を参考に作る		
主要資格の紹介	鉄骨製作管理技術者、建築鉄骨検査技術者 溶接管理技術者、非破壊検査技術者(UT)		
全構協の紹介			
会長挨拶	会長年頭の挨拶(当年度)		
全構協とは	目的、組織、沿革		
役員	役員名簿		
会員	正会員名簿(組合HPへのリンク)、賛助会員名簿		
構成員数と鉄骨需要量の推移	(パンフp.2)		
業務・財務資料			
定款			
財務諸表	当年度、前年度		
事業計画	当年度		
収支予算書	当年度		
電子公告	過去5年分の決算報告書等		
事務所所在地			
事業内容			
技術開発・普及事業	(パンフp.5~6)		
会員共益事業	(パンフp.7~8)		
共済事業	(パンフp.8)		
高規格材鉄骨製作支援制度			
建築着工面積と鉄骨推定所要量推移	会報発行時に更新		
構成員の紹介			
構成員会社の検索(条件入力)	各県と全国の構成員数も掲載する。		
検索結果表	Google Map連動。		
大臣認定取得構成員工場の検索(条件入力)	グレード別、支部別認定工場数も掲載する。(パンフp.3)		
検索結果表	Google Map連動。生産トン数等の詳細情報も追加する。		
鉄骨製作工場の大変認定 概要	(パンフp.9~10)		
女性が活躍する会社の紹介	鋼構造ジャーナル記事、等		

項目	内容
会員コーナー	IDとPWが必要
全構協会報	バックナンバー
経営支援ツール	
原価早わかりシート	
仮設金物類 原価算出シート	
見積条件書・チェックリスト	
工程管理表	
日報デジタル化の手引き	作成予定
リモート製品検査マニュアル	作成予定
BCP実施マニュアル	作成予定
その他	随時追加
全構協共済制度	
生命共済	
指定塗料	
オートリース	
形鋼専用鋸刃	
鉄骨技術研究開発助成制度	
技術情報	
高規格材鉄骨説明書確認申請	申請書、申請の手引き等
溶接ヒューム規制情報	
その他	随時追加
講習会案内	協会後援の講習会(建築学会、鉄連等)
書籍の案内	
総会・理事会報告	(別のPWが必要)議案書、議事録を掲載
会議・委員会情報	報告書等を掲載
メール連動カレンダーシステム(保留)	
アンケートシステム(保留)	
リンク集	各組合、全青会、関連団体
問い合わせ	
個人情報保護方針	
サイト利用上の注意	

2021年9月21日

2021年度 鉄建協主催のゼネコン等との意見交換活動について

ゼネコン・設計会社・高炉メーカー 各社と、各業界の状況についての意見交換会を鉄建協主催で実施した。実施内容は下記の通り。

例年は、当協会も参加しているが、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、訪問者数極小化のため、当協会は今年度の参加を辞退した。

なお、意見交換会実施内容については、後日、鉄建協から報告される予定である。

【記】

1. 実施日程

・2021年8月19日（木）～9月1日（水）

2. 意見交換先

[設計事務所] 日本設計、三菱地所設計、日建設計、久米設計、
NTT ファシリティー

[ゼネコン] 大林組、大成建設、竹中工務店、清水建設、鹿島建設、
戸田建設、前田建設、東急建設、西松建設

[高炉メーカー] 日本製鉄、JFE スチール、神戸製鋼所

3. 意見交換内容

- 1) (新型コロナウイルス禍の影響も含めた) 今後の鉄骨発注動向について
- 2) 鋼材事情に基づいた適正価格・適正工程での鉄骨発注について
- 3) その他諸問題
(製品輸送、追加変更工事、附帯工事契約、鋼材の有効活用、
重層下請問題等) について

以上

事務連絡
令和3年8月31日

関係団体御中

経済産業省製造局
中小企業庁

「価格交渉促進月間」の実施について

平素より、下請取引の適正化及び下請中小企業の振興に多大なる御尽力をいただき、誠にありがとうございます。

中小企業庁では、かねてより発注側企業と受注側企業との取引適正化に向けた取組を行っております。

中小企業庁の下請Gメンによるヒアリング調査などによれば、依然として発注側企業から一方的な原価低減要請が行われているほか、労務費や原材料価格が上昇している受注側企業が、発注側企業に対して価格交渉を申し込むことすら難しい実態が存在しております。

このため、最低賃金の改定を含む労務費や原材料費等の上昇などが下請価格に適切に反映されることを促すべく、本年9月を「価格交渉促進月間」に設定することが、令和3年8月25日に首相官邸で開催された「中小企業等の活力向上に関するワーキンググループ」において関係省庁間で合意されました。

中小企業庁では、これに基づき、発注側企業と受注側企業との間の価格交渉を促進するための各種施策を行ってまいります。

貴団体におかれましては、下記の点について各会員企業に周知いただけますよう、御協力をお願い申し上げます。

記

中小企業庁においては、9月の「価格交渉促進月間」終了後に、下記のフォローアップを実施してまいります。

1) 受注側企業への状況調査

10月以降、受注側企業に対し、発注側企業との価格交渉の状況について、下請Gメンによる重点的なヒアリング（2千社程度）や、アンケート調査

(数万社に対して配布予定) を実施いたします。

2) 調査結果の公表

上記1) の受注側企業に対する調査結果に基づき、

- ・先進的な取組、グッドプラクティスの公表
- ・アンケートの回答を数値化して集計し、公表することを検討
- ・下請代金法に違反する事案については、公正取引委員会と連携して対処等を行ってまいります。

その他、本月間の期間において、価格交渉や下請代金法に関する講習会、セミナー等も実施してまいります。

発注側企業におかれては、上記の中小企業庁における実施事項を踏まえ、「価格交渉推進月間」における受注側企業からの価格交渉の要請に御対応いただければ幸いです。

今後とも、発注側企業と受注側企業の共存共栄関係の進展を目指し、適正価格での取引の実現に益々の御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

以上

お問い合わせ先

中小企業庁事業環境部取引課

電話：03-3501-1669 (直通)

担当者：善明、藤川、佐々木

3. 価格交渉促進月間について

- 依然として発注側企業から一方的な原価低減要請が行われているほか、労務費や原材料価格が上昇している受注側企業が、発注側企業に対して価格交渉を申し込むことすら難しい実態が存在。
- 最低賃金の改定を含む労務費や原材料費等の上昇などが下請価格に適切に反映されることを促すため、「**価格交渉促進月間**」を9月に設ける。

実施事項

1. キックオフイベント

○ 梶山大臣、十倉経団連会長、三村日商会頭のほか、各業界の主要企業の経営者が一堂に会し、トークセッション形式の**キックオフイベント**を実施。

○ 上記の主要企業から、取引先中小企業との共存共栄に向けた方針や取組などを紹介。

2. 受注側企業への状況調査

○ 価格交渉促進月間終了後の10月に、受注側企業に対して、**①下請Gメンによる重点的なヒアリング（2千社程度）、②アンケート調査（数万社に対して配布予定）**を実施。

3. 発注側企業への周知

○ 上記調査結果について、**①先進的な取組、グッドプラクティスの公表、②アンケートの回答を集計し、公表、③下請代金法に違反する事案は、公取と連携して対処すること**等を、発注側企業へ幅広く周知。

4. 広報

○ 新聞やチラシ等を用いて取組を周知。

5. 講習・研修・相談等

○ 受注側企業の価格交渉者向けの価格交渉についてのセミナーや講習会等をオンライン形式で実施。

適正取引講習会 2021

オンライン講習会

参加
無料

価格交渉のノウハウを身につける

発注側企業と受注側企業との適正な価格に基づく取引を推進するため、受注側企業の経営者・担当者を対象としたオンライン講習会を開催いたします。また発注側企業の購買・調達担当者も対象とした下請法のオンライン講習会も開催いたします。

価格交渉サポート

【実践編】

発注側企業と価格交渉を行って労務費や原材料費上昇分の転嫁を進めたいが、その方法がわからないという受注側企業向けに、価格交渉力を強化するためのノウハウや方法に関する講習会を開催いたします。

開催日時 2021年8月下旬～2022年2月
全20回開催 ※詳しい日程はサイトにて適時お知らせいたします

募集定員 500名 形式 オンライン

対象者 中小企業等において、発注側企業との価格交渉に携わっている方等。

【基礎編】

価格交渉の進め方など、受注企業が発注側企業との価格交渉を行う際を知っておくべき基礎について動画で学ぶことができます。

動画視聴方法

2021年9月中旬まで
適正取引支援サイトに
ご覧いただけます

2021年9月下旬からは
適正取引講習会eラーニング内で
ご覧いただけます

下請法

【実践編】

下請代金支払遅延等防止法(下請法)の遵守に向け、事例を中心に解説し、より実践に即した下請取引に関する講習会を開催いたします。

開催日時 2021年9月上旬～2022年2月
全30回開催 ※詳しい日程はサイトにて適時お知らせいたします

募集定員 500名 形式 オンライン

対象者 下請取引のある発注側企業の外注(下請取引)業務を管理する方等。

【基礎編】

受注側企業の利益を保護し取引の適正化を推進するため、下請法の基礎について動画で学ぶことができます。

動画視聴方法

2021年9月中旬まで
適正取引支援サイトに
ご覧いただけます

2021年9月下旬からは
適正取引講習会eラーニング内で
ご覧いただけます

講習会詳細/お申し込み

適正取引支援サイトで検索

※オンライン講習会の視聴用URLはお申込後、別途電子メールでお知らせいたします。



下請取引に関する正しい知識がeラーニングで学べるようになります

詳しくは「適正取引支援サイト」からご確認ください。(9月下旬公開予定)

主催 経済産業省 中小企業庁 お問い合わせ 適正取引講習会事務局 (株式会社epigram内) 専用電話番号: 03-6820-0670(平日10:00~17:00/土日祝は休み) メールアドレス: tekitori.koushuukai@epigram.tokyo

注意事項 ○テキストや事例集は必要に応じて事前にダウンロードしてください。○オンライン講習会の視聴環境はご自身でご調整ください。また視聴にかかる設備や通信の費用は視聴者ご自身でご負担ください。○主催者側、視聴者側を問わず、システムトラブルなどにより画像、音声に乱れが生じた場合でも主催者は視聴可否について責任を負いません。○オンライン講習会の進行を妨げる問題などが発生した場合は、主催者の判断で配信を中断または中止する場合があります。○本オンライン講習会の録画、キャプチャー、SNS、ブログ等への掲載はできません。○複製、ダウンロード、配信、送信、放送、展示、販売、改変、修正、またはその他の方法での使用を行うことはできません。

2021年8月31日

一般社団法人 全国鐵構工業協会 殿

長野県鐵構事業協同組合
理事長 飯島 正博

長野県の現状についてのご報告

2019年4月に開始された特定技能外国人受入れ制度において受入業種の指定を受けた各業界で優秀な特定技能者受入れが進む中、鉄骨製造業においては受入業種に指定されていないため、未だ受入れが出来ない状況が続いております。

当制度は人材確保が困難な状況の中、一定程度の日本語および技術力を保持した外国人材を受入、活用することにより、「人手不足を解消する制度」とされています。

少子高齢化が進む中、今後2030年までの10年間に日本国内の15歳から64歳までの生産年齢人口は530万人減少すると試算されており、近い将来必要な労働力の確保ができなくなる状況になると考えられます。

今日現在、当業界全体でみると高齢者や女性の活用等を進めつつ、まだ国内の労働者を確保できている状況かもしれませんが、今後労働者不足はより一層深刻化し、高齢者や女性の働き手の確保さえも困難な状況になり、労働者不足が鉄骨産業の衰退の引き金となりかねません。

他の建設業では認められている特定技能制度が鉄骨製造業は受入業種に指定されていないからと、優秀な技能実習生であっても5年を区切りに日本に留め置けない制度こそ不備のある制度ではと思われれます。海外からの優秀な人材の受入れと確保により将来考えられる雇用不足を補う方法の一つとして是非とも受入れ業種への指定を早急をお願いしたい。

2年ほど前に貴協会において特定技能外国人受入検討ワーキンググループを設置し様々な情報・角度から分析・ご検討いただき、その上で次の見直し時期に向けて準備を進めることになっていることは承知しておりますが、当長野県組合員に調査した直近の技能実習生と特定技能外国人の受入れ業種指定についてのアンケート結果では、国民の命と財産を守るインフラとして大きな使命をもつ鉄骨産業が今後も維持するために特定技能外国人の受入れにおける追加業種指定を受け入れられる様に業界一体となって準備を加速して頂きたいとの強い声が寄せられておりますことをご報告いたします。

今後の取り組みにつきまして、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

令和3年8月吉日

関係者各位

経済産業省産業技術環境局環境管理推進室
経済産業省産業保安グループ電力安全課
環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課

「令和3年度PCB廃棄物の適正な処理促進に関する説明会」
広報用チラシ及びポスターご送付のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も、PCB廃棄物の適正な処理促進に向けた国の施策や事例等、最新動向を事業者の皆様にご紹介すべく、標記説明会を全国5か所にて開催と、併せてインターネット配信を実施することとしました。特にインターネット配信は、高濃度PCB廃棄物の処分期間が終了している地域の皆さまにも、低濃度PCB廃棄物の処理促進にお役立ていただけるもの思っております。

より多くの方にご参加いただきたく、広報用のチラシ及びポスターをお送りいたしますので、各関係者に向けた配布及び周知へのご協力をお願いいたします。

ご不明点等ございましたら以下の担当者までご連絡いただきますようお願いいたします。

○開催案内及び説明会申し込み等についてのお問合せ先

運営事務局（株式会社ステージ内）

担当： 有馬（ありま）・山際（やまぎわ）

TEL： 03-3554-5039

e-mail： orientation@pcb2021.go.jp

ホームページ： <https://www.pcb2021.go.jp/>

○PCB廃棄物処理の詳細についてのお問合せ先

経済産業省産業技術環境局環境管理推進室

担当： 酒井、増田

TEL： 03-3501-4665

以上



ライブ配信 & 講演動画配信 有り

主催: 経済産業省 環境省

参加費無料 事前申込制

令和3年度 PCB廃棄物の適正な処理促進に関する説明会

会場でのご参加、ライブ配信 (5回)、特設HPでの動画再生、お好きな方法でご聴講いただけます。

講演内容	講演内容	講演内容
第1部 高濃度 PCB (1) 高濃度PCB廃棄物の適正な処理の推進について (2) 高濃度PCB含有電気工作物について (3) 照明器具安定器の適正処理について※ (4) 高濃度PCB廃棄物の処理委託手続きについて	環境省 廃棄物規制課 経済産業省 電力安全課 公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)	
第2部 低濃度 PCB (1) 低濃度PCB廃棄物等の適正な処理の推進について (2) 低濃度PCB含有電気工作物について (3) 課電自然循環洗浄について	環境省 廃棄物規制課 経済産業省 電力安全課 経済産業省 環境管理推進室	

※名古屋会場は第1部(3)を除く全6演題になります。

説明会会場	都市名	開催日	会場名
全会場でライブ配信!	名古屋	令和3年 10月1日(金)	名古屋市公会堂 4階ホール
	仙台	令和3年 10月8日(金)	エスポールみやぎ 大会議室
	東京	令和3年 10月15日(金)	ティアラこうとう 大会議室
	札幌	令和3年 10月22日(金)	北海道立道民活動センター [かでる2.7] 大会議室
	金沢	令和3年 10月29日(金)	金沢商工会議所 ホール

●全国5カ所です計5回の説明会を開催します。

※特設HPで講演動画の配信を 2022年3月31日まで実施します。



詳細及び申込みはHPをご覧ください どなたでもご参加頂けます。詳細及び申込みは以下特設HPをご覧ください。

<https://www.pcb2021.go.jp/>



お問い合わせ 令和3年度「PCB廃棄物の適正な処理促進に関する説明会」運営事務局(株式会社ステージ内) 電話番号: 03-3554-5039 (土・日・祝日を除く午前10時~午後5時) メール: orientation@pcb2021.go.jp

基安化発 0913 第 1 号

令和 3 年 9 月 13 日

関係団体の長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部
化学物質対策課長

職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会報告書の周知について
(ご協力をお願い)

日頃は厚生労働行政の推進にご理解御協力頂き誠にありがとうございます。

本年 7 月に職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会の報告書がとりまとめ、公表いたしました。同報告書では、職場における化学物質等の管理のあり方を大きく見直すことが提言されておりますので、今後の制度改正に先だって、報告書に記載された内容について広く関係者に知って頂きたく、貴団体関係者への周知につき、御協力方よろしくお願いいたします。

なお、今般、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所化学物質情報管理センターのホームページに関連資料を掲載することと致しました。今後、報告書の内容の紹介動画など、内容を充実していく予定ですので、ご活用下さい。

<参考>

「職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会」の報告書を公表します (2021 年 7 月 19 日 厚生労働省報道発表資料)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19931.html

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所化学物質情報管理センターのホームページ

https://www.jniosh.johas.go.jp/groups/ghs/arikataken_report.html

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和3年3月31日現在 (令和2年度増減数)	/	32	34	2,197
令和3年5月20日 第1回理事会	3月31日	(0)	(12)	2,197
令和3年6月29日 第2回理事会	6月21日	13	0	2,210
令和3年9月28日 第3回理事会	9月21日	4	4	2,210
累 計		17	4	2,210

《グレード別内訳》

S : 5 H : 273 M : 827 R : 606 J : 45 未 : 454 合計 : 2,210

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和3年9月21日現在

区分	登録・取消 承認	増 減							増減差	増 減 後 構 成 員 数		
		登録 社数	取消社数									
			倒産	転・廃業	縮小	工場閉鎖	休業	その他			合計	
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261	
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017	
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849	
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813	
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770	
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739	
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711	
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652	
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度	第2回 (6月21日)	13	0	0	0	0	0	0	0	13	2,210	
	第3回 (9月21日)	4	0	2	1	0	0	1	4	0	2,210	
	第4回 (月日)											
	第5回 (月日)											
	第6回 (月日)											
	第7回 (月日)											
	第8回 (月日)											
	年度末処理											
	3年度計		17	0	2	1	0	0	1	4	13	2,210
累 計		1,053	499	675	531	126	79	1,154	3,064	-2,011	2,210	

1. 転・廃業内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	転業 0社	転業 1社	転業 1社	転業 0社	転業 1社
	廃業 9社	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社	廃業 1社

2. グレード別取消内訳		S	H	M	R	J	未	合計
	平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
	平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
	令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
	令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
	令和3年度	0	0	0	0	0	4	4

構成員登録社数・増減一覽表

(R3. 6. 22~R3. 9. 21)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	73			0	73		
	東北	青森	37			0	37	
		岩手	31	1		1	32	
		宮城	42			0	42	
		秋田	23			0	23	
		山形	26	1		1	27	
		福島	61			0	61	
		関東	茨城	61			0	61
			栃木	51			0	51
			群馬	65			0	65
埼玉	53				0	53		
千葉	59				0	59		
東京	46				0	46		
神奈川	神奈川		40			0	40	
	新潟		新潟	88	1		0	88
			山梨	31			0	31
			長野	68			0	68
北陸	富山	40			0	40		
	石川	33			0	33		
	福井	42			0	42		
	岐阜	75			0	75		
中部	静岡	95			0	95		
	愛知	132		1	-1	131		
	三重	61			0	61		

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	49			0	49
	大阪	114			0	114
	兵庫	75			0	75
	奈良	37			0	37
	和歌山	37			0	37
	中国	鳥取	14			0
島根		23			0	23
岡山		36			0	36
広島		79			0	79
山口		38			0	38
四国	徳島	25			0	25
	香川	45		1	-1	44
	愛媛	41			0	41
	高知	23			0	23
	九州	福岡	54			0
佐賀		24			0	24
長崎		19			0	19
熊本		22			0	22
大分		20			0	20
宮崎		25			0	25
鹿児島		30		1	-1	29
沖縄		16	1		1	17
合 計		2,210	4	4	0	2,210

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2021年9月1日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
20(令和2)年度	4月	9,992	89.0	3,528	90.0	199	99.5	362,750	90.3
	5月	9,444	89.5	3,520	93.6	276	187.8	365,800	95.4
	6月	9,925	84.0	3,648	85.2	85	113.3	369,050	85.4
	7月	9,701	81.0	3,543	74.5	42	32.1	356,400	73.9
	8月	9,414	84.3	2,914	69.2	54	108.0	294,100	69.4
	9月	10,068	97.6	3,368	96.7	251	165.1	349,350	98.2
	10月	9,613	90.6	3,284	89.3	107	97.3	333,750	89.4
	11月	9,371	93.1	3,000	85.5	286	307.5	314,300	88.4
	12月	9,179	88.6	3,380	83.9	226	209.3	349,300	85.6
	1月	8,377	104.9	3,183	119.6	96	89.7	323,100	119.0
	2月	8,595	95.2	3,083	102.8	198	95.2	318,200	102.5
	3月	10,435	106.1	3,767	103.5	58	58.6	379,600	102.9
	年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700
20(令和3)年度	4月	10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600	108.5
	5月	10,422	110.4	3,876	110.1	108	39.1	393,000	107.4
	6月	10,850	109.3	4,124	113.0	175	205.9	421,150	114.1
	7月	10,664	109.9	3,701	104.5	109	259.5	375,550	105.4
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計		42,472	108.7	15,577	109.4	512	85.0	1,583,300

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

2021(令和3)年度 主要会議日程表 [21-0928版]

理事会

2021. 09. 28.現在

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																																							
4	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
5	2	3	4	5	6	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		

□ ↓ 夏期・年末年始 休日
 ■ ↓ 土・日・祝日
 ◇ ↓ 休日出勤
 ◊ ↓ 振替休日

開催年月日	三役会	理事会	総会	全国理事長会 事務局長会議	委員会	その他	備考
2021年 (令和3年)	9月21日 火 14:00						
	9月22日 水					11:00 技術審議会	
	9月28日 火 10:00	13:00				15:00 賛助会員との懇談会 14:30 材料メーカー訪問(三役) JFE-S 11:00 材料メーカー訪問(三役) NSC、NS-BLTN、NS建材、JFE建材	
	10月4日 月						
	10月5日 火 14:30						
	10月19日 火 14:00						
	11月9日 火 14:00						
	11月15日 月					15:00 賛助会員との懇談会(三役)	
	11月16日 火 9:30	11:30				14:30 青年部会ブロック長との意見交換会(三役)	
	11月17日 水 14:00					11:00 技術審議会(三役)	
2022年 (令和4年)	1月14日 金 9:30	12:00		15:00 *		16:30 新年賀詞交歓会 *全国理事長会	
	2月8日 火 14:00	14:00					
	2月22日 火 10:30	14:00					
	3月8日 火 14:30	14:00					
	3月15日 火 10:30	14:00					

*** * **

2022(令和4)年度予定
2022年 4月 8日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
2022年 5月 17日(火) 三役会(14:30)
2022年 5月 24日(火) 三役会(10:30) 理事会(14:00)
2022年 6月 15日(水) 三役会(9:00) 理事会(11:30) 総会(15:00) (参: 全鉄評株主総会(14:00) L懇親会(17:00))

その他

関連団体
【青年部会】 総会・全国大会：2021年 月 日()

* = 変更箇所

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 7月分

(A)

提出日 令和3年8月13日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・12日(月) 三役会・役員会	・15日(木)、21日(水) 工場審査 ・28日(水) 第2回役員会 北海道支部共済推進会議(web)
函館		
室苦小樽		
旭川	・10日(火) 営業会議	
北見		
帯広		
釧路		

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	2 ~ 3	75 ~ 110		○				
函館	3	3	2 ~ 3	60 ~ 100			○			
室苦小樽	6 ~ 12	3 ~ 7	2 ~ 3	80 ~ 120			○			
旭川	8	3 ~ 5		100			○			
北見		2 ~ 4		90 ~ 100			○			
帯広	2 ~ 6	1 ~ 4	2 ~ 3	100 ~ 120		○				
釧路	3	4		100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み状況は、Hグレードが3-9ヶ月、Mグレードは2-5ヶ月でほぼ変わらず。R・J未認定は2-3ヶ月で若干増加傾向。工場稼働率は各グレードを通じて100%前後が大部分を占めている。見積りは「同じ」が59%で、次いで「少ない」が41%。鋼材価格の上昇とともに、鋼材・ボルトなど材料の確保難に苦慮している。 ・共同積算:1-7月 78,431t 平年比94% 前年比92%
函館	・稼働率・山積み共に横ばいだが、新規物件の見積りが少ない。鋼材・副資材の値上げ及び入手難に各社苦慮している。受注価格については大きく変わらない。
室苦小樽	・鋼材価格の急速な上昇及び鋼材納期の不安定(高力ボルトを含む)が生じ始めている。引合先も徐々に認識し始めてきているが、受注金額とのギャップが出てきそうである。
旭川	・各社、受注状況は順調。
北見	・材料の納期に不安感が増大。また、鋼材等建築資材の価格上昇にゼネコン受注価格が追いついておらず、受注価格が厳しい状況。
帯広	・現状はフル稼働の状態だが、秋以降が不透明。資材の入手難は、価格を含め更に深刻さを増している。
釧路	・発注及び見積りは静かな状況。原因が鋼材費の高騰なのかオリンピックなのかは不明。コロナの影響も少なからず出てきていると感じる。

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 8月分

(A)

提出日 令和3年9月7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・3日(火) 三役会・役員会	・工場審査実施(4工場) ⇒2日(月)、11日(水)、20日(金)、26日(水) (他5工場は、10月に延期実施予定)
函館		
室苫小樽		
旭川	・9日(月) 営業会議	
北見	・24日(火) 委員会(例会)	
帯広	・23日(月) 支部例会	
釧路	・6日(金) ゴルフ会	

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 3	90 ~ 100			○			
函館	3	3	2 ~ 3	80 ~ 100			○			
室苫小樽	4 ~ 7	3 ~ 6	2 ~ 4	80 ~ 110		○				
旭川	8	3 ~ 5	/	100		○				
北見	/	2 ~ 4	/	90 ~ 100			○			
帯広	2 ~ 5	2 ~ 3	2	90 ~ 120		○				
釧路	3	4 ~ 6	/	100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み状況は、Hグレードが3-9ヶ月、Mグレードは2-5ヶ月でほぼ変わらず。R・J・未認定は1-3ヶ月で微減。工場稼働率は各グレードを通じて100%前後が大部分を占めているが、全体的には若干減少傾向。見積りは「少ない」が増加し52%となり、「同じ」が減少し48%となり逆転した。鋼材価格の上昇及び鋼材・ボルトなど材料の確保難・納期長期化に難儀している。 ・共同積算:1-8月 91,168t 平年比98% 前年比102%
函館	・先月と変わらず稼働率は横ばい。年末以降の手持ち及び見積りは少ない。価格については大きく変わりなし。
室苫小樽	・鋼材・高力ボルトの品薄状態が深刻。見積り時にも納期について条件付きにしなければならない状況にある。鋼材の値上げ状況がいつになく厳しく、また先が見えず見積りにも支障をきたしている。
旭川	・材料(特にC形鋼)の入手がタイトな状況。
北見	・鋼材単価の高騰、納期のタイト化、軽量形鋼からデッキプレート、ボルトまで手配してみないと、具体的な納期が確定できない。
帯広	・各社の稼働状況に若干ムラがある。秋以降は見通しが良くない。鋼材価格の高騰はもとより、納期遅れが発生してきている。
釧路	・各社とも工場稼働率は100%になっており、この状況は11月位まで続く見込み。それ以降の物件が少ないので、今後どのような影響があるか心配。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021年（令和3年）7月分

(A)

提出日 令和3年8月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○7/15 青年部幹事会、積算業務担当者会議 ○7/26 正副理事長会議	○7/13 東北鉄構連積算業務委員会（WEB） ○7/13～17 2021秋期 NDI-UT レベル1 基礎講座 （多賀城）
岩手県	○7/1 技術・品質サポート（1社） ○7/8,9,13 前期性能評価（各1社） ○7/14 県南支部会 ○7/16 盛岡支部会 ○7/26 青年部理事会	
宮城県	○7/15,21 性能評価工場審査（各1社） ○7/28 営業担当者会議、溶接ヒュームの健康障害防止対策講習会	
秋田県	○7/21 営業担当者会議 ○7/27 工場審査（1社）	
山形県	○7/15 青年部 役員会 ○7/16 三役会、役員及び庄内支部合同会議 ○7/20 営業実務者会議 ○7/31 「建築鉄骨超音波検査技術者」実技試験準備講習会	
福島県	○7/2,14,20 技術・品質サポート（各1社） ○7/16 第2回理事会 ○7/28,30 性能評価工場審査（各1社）	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造 (H+H)	S造 (コラムH)	SRC造
青森県	2～12	3～8	1～4	70～120		○				
岩手県	2～9	2～6	1～2	60～110			○			
宮城県	4～17	2～5	1～3	50～110			○			
秋田県	7～9	2～6	1～6	90～110		○				
山形県	3～12	3～7	1～3	80～120			○			
福島県	6～12	1.5～12	1～6	70～125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	地元の中小案件が若干増加するも、鋼材の入手状況はさらに悪化傾向。全般的に殆どの鋼材が入手難となっており、納期が厳しく、鋼材確保と価格が不安材料となっている。
岩手県	工場加工費と工場稼働率は微減、手持ち工事量は微増となり総じて現状維持。材料価格の高騰に加えて入手難鋼種・資材の種類が急増し先行きへの不安感が大きくなっている。県内溶融亜鉛めっき工場の話では、亜鉛の価格も急騰中であり、めっき単価についても秋以降上げざるを得ないとのこと。「契約の仕方」に工夫が必要となっている。
宮城県	見積もり物件数が多少出てきた感じがするも、材料単価や納期の確認で原価の把握や工程調整が難しい状況。物件の引合いが増えても材料納期の遅延で工程に対応しきれないかが不安。
秋田県	手持ち工事量、稼働率は高くなってきているものの、鋼材の確保が難しくなり不安材料となっている。
山形県	工場稼働率は、ほぼ全ての工場が90%以上と高水準で推移している。鋼材関係の値上げ状況が日々変化しているので十分注意して見積り・受注しなければならない状況である。
福島県	繁忙期を迎えているが、鋼材費の値上げと確保に気をとられている感じを受けます。補助金に関わる工事等は、これまでと同じような工期であると、材料入荷～出荷工程が間に合わず、受注してよいか判断も難しいケースもあると思います。民間・公共工事問わず、全構協からも早急に状況の説明と要請をしないと益々厳しい状況になるのではないのでしょうか。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021 年（令和 3 年）8 月分

(A)

提出日 令和 3 年 9 月 1 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○8/25 積算業務担当者会議	○8/17 東北鉄構連積算業務委員会（WEB） ○8/26 8 月期定例役員会（中止）
岩手県	○8/18 県南支部会 ○8/20 盛岡支部会（中止）	
宮城県		
秋田県		
山形県	○8/1「建築鉄骨超音波検査技術者」実技試験準備講習会 ○8/18 青年部 役員会	
福島県	○8/6,18 性能評価工場審査（各 1 社）	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	2～15	3～8	0～4	50 ～ 110			○			
岩手県	2～9	2～6	1～3	70 ～ 100			○			
宮城県	5～12	2～5	1～2	30 ～ 100			○			
秋田県	5～7	2～6	1～5	80 ～ 110		○				
山形県	3～12	3～7	1～4	80 ～ 120	○					
福島県	6～12	1.5～12	1～5	30 ～ 125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	手持ち工事量・稼働率は平均すると横ばいだが、バラツキがある様子。鋼材については 1 ヶ月単位で、単価も納期もさらに悪化している為、見積する時点で先の状況を予想しながら交渉する等、注意が必要な状態は年内続きそう。
岩手県	鋼材等の入手難があらゆる種類に拡大しており、経営環境が悪化している。工場加工費も下落傾向となっており、見積物件数も過去最低の水準に並ぶなど、極めて厳しい状況と言わざるを得ない。
宮城県	大型案件が出始めた影響か、H クラスと M,R クラスで手持ち工事量の差が出てきた。稼働率は高い状態を維持するも材料・HTB の納期遅延で工程に遅れも出始めてきた。材料価格の高騰もあり、見積もり提出には細心の注意を要す。
秋田県	オリパラも終わり本年度はそれなりに忙しいという話もあるが、今後一層材料のタイト感と納期が延びる事が予想され、材料費の高騰とともに材料調達に大きな懸念が残る。
山形県	県内見積物件数は、昨年同月比の 2.5 倍増、前月よりやや多かったが、全体的に厳しい状況であることに変わりはない。
福島県	材料入手状況が、ますます厳しいようです。元請に対しても、材料確保の現状をさらに理解していただく必要があると思います。材料確保が優先であることや、施工図の返答が遅いこと、工事遅延等で利益を圧縮しているという話も以前より多く聞こえています。これまで同様に利益を残せる営業活動をしていきましょう。 【意見】 鋼材価格の急激な上昇、価格高騰なのに鋼材調達難の状況が受け入れ難い。メーカーの市場に対する供給責任はあるのではないかと。過去の高力ボルト調達困難な状況の様に陥る前に、事前に全構協から国土交通省等を通してメーカーの生産体制を確認、供給を要請するべきではないかと。自動車メーカーの 9 月大幅減産の高炉メーカーの鉄源を建築に向けて欲しい事と安定供給して欲しい。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 7月分

(A) 提出日 令和3年9月13日

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	14日 理事会、青年部会、Mグレード部会 工場審査(4社)	関東支部活動・行事等
千葉県	2日(金)三役・支部長会、理事会 9日(金)北部支部会 工場審査2社	
神奈川県	7日 性能評価工場審査に係る事前指導、性能評価工場審査 7件	7/12 第2回関東支部会(高崎)
茨城県	工場審査 2社、サポート3社 鉄工2級実技指導 27日 技能実習生溶接専門級試験10名 29日 ヒューム濃度測定説明会	7/15 第2回関東支部運営委員会(WEB)
埼玉県	7日(水) 総務委員会 20日(火) 組合会計監査 14日(水) 組合理事会 26日(月) PAWG(フェイスブレイク実証実験) 16日(金) 中央会情報連絡協議会 27日(火) 関東支部会	
栃木県	7/15 定例理事会(対面式開催)、7/30 工業会と賛助会との情報交換会、 性能評価審査(13社)、性能評価サポート(1社)	
群馬県	工場審査 7社、サポート1社	
長野県	・7/2~4:とび技能検定 ・7/9~11:鉄工技能検定 ・7/17.18.31:UT実技講習会	・7/24:とび学科講習会 ・7/13:常任理事会 ・7/21:運営委員会 ・7/7~15:工場審査サポート(2社) ・7/29:工場審査(1社)
山梨県	10日 溶接JIS検定 21日 溶接競技大会 表彰委員会 21日 理事会 [教育]アーク溶接特別教育(一般15,16日)、ガス溶接作業主任者資格取得準備講習(20日)、 ガス溶接技能講習(高校24日~31日)(甲府工業、韮崎工業、農林、都留興譲館 4校)	26日 経営近代化委員会 "日 青年部会 27日 教育技術委員会 28日 溶接安全委員会 [工場審査] 15日(R),16日(M),19日(M)
新潟県	7/30 第1回青年部会 7/8~15 工場審査サポート(4工場)	

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
東京都	4~14	1~5	1~2	70		○				
千葉県	3.0	1~7	2.5	80~90			○			
神奈川県	8~12	1~5.5	3.0	70~120		○				
茨城県	6~10	3~6	2	70~90		○				
埼玉県	3~10	2~13	1~4	60~100		○				
栃木県	8~12	4~8	2~8	60~120		○				
群馬県	7~14	4~5	1~4	60~110		○				
長野県	2.5~8	1~11	0.5	50~110		○				
山梨県	8~12	0.5~14	2~3	70~120			○			
新潟県	6~13	3~6	2~4	90~100		○				

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	前月同様、依然として各グレードのファブ間で手持工事量に開きがあり、二極化した状況が続いている。また、材料の値上げに加え、納期が遅れるなど製作コストが上昇しているなかで、適正利益の確保のための材料価格のコスト転嫁が難しくなっている。なお、仕事量が多少なりにも増えつつあるという企業もあるが、受注価格、納期の面から受注に結び付かないケースが出始めている。
千葉県	PL規格品が薄。デッキPL受注ストップ(物件が決まっても鋼材が不足して加工が出来なくなるのではと危惧。鋼材先行発注、取り合いが始まっている。)コラム、鋼板、HTB品薄状態。在庫発注後受注。仕事は増えてきたが単価は安い。鋼材価格も値上げで加工費圧迫。
神奈川県	見積もり件数も増えてきたが鋼材の調達に時間がかかり短納期の物件は慎重になっている。HTBの品薄感も増してきており、鋼材価格も月に1万ほど上がってきている。足元では鋼材価格を高め設定して受注したものが、既に逆ザヤになったと話す組合員も見受けられるようになった。
茨城県	・大型の案件は1年先まで話は来ているが、県内の物件は、少ない。材料が高騰している為単価を入れるのが難しい。 ・価格の上昇もさることながら、物が無いのが問題である。ミルメーカーに建築用の鋼材の生産を増やすよう働きかけて欲しい。 ・材料費が急激に上昇していますが加工費は連動せずに低い水準のままとなっております。交渉を粘り強く続けていきますが材料費の上昇幅が大きく、加工費の適正単価までの改善には追いつかない。 ・技能実習3号(5年)を修了した子が、特定技能老いとしてほかの業種に移行していく、また現在実習している子も他業種の資格試験を受けてる。せっかく技能を高めて残ってほしい技能者が他業界へ抜けていくのが残念です。
埼玉県	埼玉県はまん延防止法から緊急事態宣言が発令された。過去の例を見ると市場マインドが下がり、物件の延期や中止があり、見積件数も減少が見られた。長引くコロナ禍で市況がどのように変化するか注意深く見守る必要が出てきた。
栃木県	・材料の高騰と共に入荷が遅れる部材が出てきた。 ・運搬業者、重機業者から休日料金が設定された。 ・ボルトの手配が困難になっている。 ・引合い件数がやや増えてきた。
群馬県	鋼材の入手難が続くが、来年も特に、H鋼・BCR・BCP及び切板の納期が心配である。また、鉄骨単価は底を打った感があるが、ゼネコンはまだ、安値で指値してきており、鉄骨単価が上がる状況が見えない。
長野県	鋼材の高騰・入手難より物件の延期や納期遅延などが懸念される。オリパラ後の需要回復に期待する声もあり。
山梨県	鋼材単価、納期が未確定の為見積もりが出せない状態である。
新潟県	鋼材価格が毎月のように上昇。地元案件が少ないために厳しい指値がある模様。受注価格の低下に鋼材価格の上昇でダブルの圧迫を受けている。採算悪化を防ぐために、鋼材価格の上昇を転嫁した適正価格による受注が求められる。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 8月分

(A) 提出日 令和3年9月13日

都道府県	①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
東京都	21日 東構塾(8期第2回)			関東支部活動・行事等
千葉県	無し。(工場審査5社緊急事態宣言の為延期)			
神奈川県	賛助会員との打合せ2件			
茨城県	20日 第3回理事会(延期) 工場審査2社、28、29日 NDI-UT1学科講習			
埼玉県	4日(水)総務委員会 10日(火)鉄女 in SAITAMA vol.8 You Tubeに公開 11日(水)組合理事会、協力会と共済委員会合同会議 31日(火)PAWG(フェイズドアレイ実証実験)			
栃木県	8/5 性能評価審査(1社)			
群馬県	3日 サポート委員会、26日 正副理事長会議・役員会(web)			
長野県	8/7,8: 鉄工学科講習会 8/22: とび技能検定	8/28,29: UT学科講習会 8/29: 鉄工技能検定	8/3~10: 工場審査(3社)	
山梨県	11日 理事会 20日 山梨県産業技術センター運営委員会 25日 教育技術委員会 26日 経営近代化委員会 30日 溶接安全委員会 [集団健康診断・じん肺・マンガン検診]24日都留(東部地区)9社80名、 25日甲府(甲府・峡東地区)8社75名、26日 南アルプス(中北・峡南地区)13社120名			
新潟県	8/27 第3回正副理事長会議、8/6~25 前期工場審査(9工場) 8/31 営業者担当会議 10/末に延期			

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
東京都	4~14	1~6	1~3	40~110		○				
千葉県	3~12	1.5~5	2.0	50~100		○				
神奈川県	10~11	1.5~6.2	3.0	60~100		○				
茨城県	6~15	2~7	—	90~100		○				
埼玉県	3~10	3~13	2~4	80~100		○				
栃木県	4~8	4~6	2~7	50~120		○				
群馬県	6~10	3~6	2.5~5	80~110		○				
長野県	4~12	1~10	0.5	5~120			○			
山梨県	8~12	0.8~13	2~3	70~120			○			
新潟県	5~14	2~7	2~4	90~100			○			

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	見積物件数、仕事量が増えているというファブもあるが、材料の仕入値上昇によるコストアップ分を価格に転嫁することが厳しく、且つ、鋼材の入手難が続いている状況下でもあり、受注価格、納期の面から契約に結び付かないケースが増えてきている。
千葉県	先の仕事が薄いのは元からだが、ここ数か月は特に目先の仕事が急に決る事が多い。鋼材・HTBの納期長期化をなんとかしてほしい。コラムが無く仕事が進まない。
神奈川県	鋼材、副資材等の値上げが落ち着きを見せる様子がない中、加工費の値下げ要求も日を迫る毎に強くなっている。鋼材等の値上げはゼネコンにも浸透はしているが、競合する他社の安値に引っ張られる悪循環になっている。鋼材の品薄状態も加速しつつあり、店売りのベースサイズでも在庫が無く受注を断念したとの声もある。見積りは増えてきた様子だが、鋼材価格と納期の兼ね合いが重要となる。
茨城県	* 鋼材の急激な値上げ、コラム、厚板等の品薄状態で納期に影響している。中小物件の材料も揃わない状態である。 工事により原因は様々だが、現場工程の遅れがあり工場保管場所の扱いに苦労している。 * このところ気温差、気圧差の変化が大きいためか体調を崩したり、ワクチン接種やその副作用の影響で欠勤者が多く製作工程に支障をきたしている。 * 見積りは多いが受注率はよくない。鋼材の単価の急伸がどうなっていくか心配。 * 材料単価の急激な上昇・納期の長期化と材料関連の問題が増えていきます。これらが一段落するまでは慎重な受注活動が必要です。下期はさらに厳しいとも・・・
埼玉県	ポルト納期の長期化の話がではじめた。そのため、納入業者は早めの手配を呼び掛けているが、名寄せシステムが無い中で、このような行動が過去のポルト問題の再燃にならないか心配している。
栃木県	・材料の高騰と共に入荷が遅れる部材が出てきた。 ・図面承認が遅い。 ・コロナ禍での遠方の仕事への対応に苦労している。 ・コロナで外国人実習生が入国できないために人手不足傾向にある。 ・消耗品等も全て値上げしている。
群馬県	鋼材の値上がりりと材料納期の遅延が顕在化している中、中小物件における地場ゼネコンからの厳しい指値等で板挟み状態になっている。
長野県	鋼材入荷、単価上昇、不透明な状態は変わらない。HTBの品不足が目立ってきたという声も聞かれる。 トヨタ自動車と鉄鋼大手との値上げ交渉が今後どのように影響するか注視していきたい。
山梨県	鋼材等価格の高騰、在庫不足に工期が不明確なため、材料の手配や工程の組方が困難となってきた。
新潟県	鋼材の価格の急上昇と入手困難で、受注判断に苦慮している組合員が多い。 手持ち工事量・稼働率において二極化が目立ってきている。

＜北陸支部＞ 状況報告書

2021年（令和3年）7月分

(A)

提出日 令和3年8月12日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	26日(月) 建専協・会計監査 30日(金) 忠政会	29日(木) 第2回北陸支部役員会(金沢) 全構協と北陸支部会との懇談会
石川県	1日(木) 前期工場審査(Hグレード1社) 2日(金) 第三回青年部役員会 7日(水) 前期工場審査(Mグレード1社) 13日(火) 第3回三役会、第3回理事会 14日(水) 前期工場審査(Hグレード1社) 20日(火) 前期工場審査(Hグレード1社)	
福井県	2日(金) 技術品質サポート(～12日まで 3工場) 6日(火) 定例三役会・理事会 13日(火) 技術委員会 21日(水) 認定部会役員会・例会 28日(木) 性能評価認定工場審査(1工場)	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	5～11	3～6	2～3	80～120		○				
石川県	5～12	3～8	2～4	70～100			○			
福井県	3～12	2～5	1～2	70～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	グレードに関わらず、仕事は増えてきているが鋼材・副資材の高騰と、長納期化、調達難が重大な問題となっている。特に高力ボルトについては、徐々に長納期化してきておりかつての騒動再発が懸念される。また、地場GCは相変わらず価格競争をしており、指値は非常に厳しいが鋼材価格の動向に注意をして、加工費を維持していかなばならない。
石川県	・RグレードやMグレードについても秋までの仕事量については確保している模様。Hグレードについては、6ヶ月～1年は確保している様子。鋼材の高騰や材料の入手困難が徐々に影響が出ている。価格が高騰し続けるので受注に苦労している。地元中小物件中心の工場については材料納期の長期化により年末年始から年度内の仕事に不安が出ている。コロナの影響も継続しており組合員同士の話し合いの場が減少されているがWEBなどを活用し情報交換していきながら材料価格・納期の情報共有と材料費の価格転嫁や加工費の維持に努めていきたい。
福井県	・受注済み物件が動き出しているため6月以降の各工場稼働率は概ね向上傾向にあるが、今夏以降については山積み量の多寡が二極化していて今夏を乗り切る事さえ不安な工場もある。 ・主要鋼材価格の高騰は止まらず、供給業者の情報によると年末までにさらに高騰を続ける見通しとの事。鋼材の高騰は受注価格への転嫁が見込めないまま推移していて、工期の長い物件の見積り作業を妨げている。加えてボルトの供給不足と高騰が工事スケジュールに大きな影響を与え始めている。 ・全構協におかれては、かつて鋼材価格急騰の際に行ったように関係省庁や関係団体への全国レベルでの陳情活動を実施されることを熱望する。

＜北陸支部＞ 状況報告書

2021年（令和3年）8月分

(A)

提出日 令和3年 9月6日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等	
富山県	10日(火) 建専協・全体会議 24日(火) 建専協・知事への要望書手交	4日(水) 全青会・第1回北陸ブロック役員会(金沢)	
石川県	3日(火) 第1回加賀支部会(小松) 6日(金) 第4回青年部役員会 23日(月) 第1回担い手確保・育成特別委員会 31日(火) 臨時三役会		
福井県	2日(月) 県鉄工連合会事務局責任者会議 4日(水) 性能評価認定工場審査(1工場) 5日(木) 性能評価認定工場審査(1工場) 10日(火) 性能評価認定工場審査(1工場) 20日(金) 定例三役会・役員会		

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～13	3～5	1～3	80～110			○			
石川県	4～12	3～7	2～3	70～100		○				
福井県	5～12	2～6	2～3	70～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大型物件は工期が長いので鋼材手配は何とか出来ているが、工期が短い地場物件は調達出来ない鋼材が多くあり、仕事が増えてきている中、受注出来ないケースが出てきている。鋼材費は工事全体に占める割合が小さく、あまり問題はないとする間違った考えが大手GCにあるらしいが、我々ファブにとっては大問題であり、鋼材動向に注視して、加工費を維持しながら受注活動をしていかねばならない。しかしながらGCの圧力が非常に強く、鋼材の値上がり分が加工費にしわ寄せがきているのが現実である。
石川県	ほぼすべての工場で足元の仕事は確保しているものの鋼材の納期調整、価格急騰について苦慮している。今後も強含みとなる見通し。事前の発注枠取りで材料手配の手間がこれまでに以上にかかっている。鋼材手配のめどが立たず、年末にかけての仕事の断念せざるをえないケースが出てくる恐れがある。鋼材の価格急騰や納期の長期化について様々な情報が飛びかうので正確な情報の共有化のためできる範囲の方法で意見交換を行っていきたい。
福井県	・概ね受注量は増えつつある。HとMグレードは多い所で来夏までの手持ち量を確保しているが、工期が長いと鋼材見積単価が確定できず受注契約に慎重を期している。Rグレード以下の一部では未だ手持ち量の確保に困惑している。 ・主要鋼材の高騰は続いており、県内ではボルトの供給不足による予定工期の延長工事も散見されている。主要鋼材高騰に対する地元GCの理解は遅く見積もり時に根気よく説明を行っているが、全構協が早急に全国的な活動を展開することで地方において地場GCへの説明に厚みが増すことになる。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 7月分

(A)

提出日 2021年(令和3年)9月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県	12日(月) 溶接ヒュームばく露測定講習会 28日(水) 理事会 31日(土) 静電塗装機実演講習会	
静岡県	28日(水) 役員会	
愛知県	20日(火) H部会 7日(水) 愛知県建設技術研修:講師派遣 30日(金) 名古屋北支部会 性能評価工場審査 6件	
三重県	21日(水) 理事会・「新生みえ」懇談会 性能評価サポート 9社 複数回終了 7月初旬、鉄骨製造業の業種紹介ポスター及びリーフレットの配布完了	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
岐阜県	3~6	2~7	2~3	60 ~ 110		○				
静岡県	6~9	1~6	1~4	50 ~ 120			○			
愛知県	7~13	3~12	1~4	70 ~ 120		○				
三重県	9~16	2~9	1~5	80 ~ 125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・手持ち工事量及び工場稼働率はおおむね高い傾向にある。 ・溶接ヒューム規制に対して鉄工業界だけが騒いでいる感がある。 ・材料の値段が高騰し、納期もかかるので見積りが出しにくい。 ・高炉指定の物件が多く出ており材料の対応が出来ない。 ・鋼材価格高騰に加え、コラムの確保も困難になってきている。 ・材料納期が延び、価格も高騰しているため受注が大変。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小物件については、2021年秋以降の情報量が、若干増えてきたと思われるが、首都圏の仕事の情報薄い。 また、仕事量が若干増えてきて、今後の鋼材の納期伸長や価格に値上り等の環境変化が大きく影響し、納期・金額的に厳しい受注環境が続くそう。今後の鋼材の市場動向には、注意を要する。 ・鋼材価格の高騰や納期の長期化によって、見積案件の回答に苦慮している。 ・材料価格の高騰と、品薄、ロール受付遅延等で、物件受注活動に大きく影響が出ており、受注山積み状況が先々不安である。 受注単価についても、材料高騰の転嫁がなかなか浸透できていないため原価に食い込んできている。 ・資材費の高騰により、加工費が圧迫されている。仕事量としては確保できているが、見通しとしては、楽観できる状況にはない。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材の在庫量に関して様々な情報が錯綜しており、注意喚起が必要と思われます。 ・資材の高騰がどこまで続くのか不安である。 ・鋼材及びボルトの入手難で受注に繋がられない。 ・受注はできているが、材料の供給と値上げが懸念される。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費の極端な高騰が反映されず受注金額が苦しい。 ・材料価格の高騰や品薄状況が非常に厳しい。コンビニなど流通店舗は全体的に少ない。12月以降の工事が無い。来年以降は大型物件がメインとなるでしょう。M・Rクラスの案件は少ない感じがある。 ・早めの材料手配のためゼネコンだけでなく設計事務所及び施工側にも状況を理解してもらうことが必要ではないでしょうか。 ・トルシアボルト不足が発生している。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 8月分

(A) 提出日 2021年(令和3年)9月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県		
静岡県		
愛知県	5日(木) 中央会:情報研究会総会 出席 性能評価工場審査 2件	
三重県	性能評価サポート 9社 完了 工場審査完了 8社、延期1社	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3～6	2～4	1～6	90 ～ 120		○				
静岡県	6～10	1～6	2～4	50 ～ 120		○				
愛知県	7～15	3～6	1～4	70 ～ 120		○				
三重県	11～19	2～8	2～6	80 ～ 125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材価格は高騰と不足により受注が困難になりつつある。 ・手持ち工事量があっても鋼材価格の高騰の先行きが見通せず先行きが不安。 ・材料の値段が高騰し、それに加え確保も厳しい状況。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小物件については、2021年秋以降の情報量が若干増えてきたと思われる。しかしながら、今後の鋼材の納期伸長や価格の値上り等の環境変化が大きく影響し、納期・金額的に厳しい受注環境が続いている。鋼材の納期と金額によっては、自社の山積みが低くても受注出来ない状況が生まれつつある。 ・すでに見積りしてある物件の鋼材値上り分の材料費が回収できない(持ち出し)。鋼材が落ち着かないと仕事を受けられない場面がある。 ・相変わらず、材料価格の高騰と品薄、ロール受付遅延等で現場納期に合わせる事が不透明でなかなか受注することが出来ない。受注単価についても、材料高騰の理解はされてきているが、100%了解してもらえない。 ・材料の価格の高騰が止まらない。短期間に価格が上がるので、見積単価の設定が難しい。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムも入手困難になってきているため、今後の納期と価格が心配である。 ・鋼材の高騰、材料の入手困難、人員不足等、明るい見通しが少ない。 ・鋼材やボルトの値上がり状況や納期などの調査をしてほしい。 ・見積量は減っていないが、材料や納期に懸念があり受注できるか不安である。 ・鋼材手配難でなかなか受注に繋がりますが、年明けの引合いは多くなってきている。 ・工事量は何とか確保しているものの、加工単価は下げない努力を続けなければならない。 ・鋼材が値上がりしており、なかなか値決めのタイミングが難しい。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費の高騰が続いていますので受注金額が厳しい。 ・材料価格の高騰や品薄状態が続いているため、大型案件が手付かず状態で宙に浮いている。コラム材の入荷時期が未定で案件の建て方時期に要注意。ボルトは2年前の状況となっている。 ・今後予定している工事の価格転嫁交渉がますます激化していく。工事が出てきても材料が揃わないのでは何も出来ない。S造からRC造に設計変更の動きもある。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年7月分)

(A)

提出日 令和3年8月11日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県		
京都府	・7/1・2・8・9・10・12・13 7社 工場審査 ・7/14 京都府溶接技術競技会表彰式 ・7/27 理事会リモート併用	
大阪府	・7/29北大阪支部会 技術品質サポート8社 工場審査 11社	
兵庫県	・7/15 第2回理事役員会 ・前期工場審査 6社 ・サポート 7社	
奈良県	7/2 ヒューム説明会・理事会 7/15・19 認定サポート2社 7/26 三役会 7/30 工場審査1社	
和歌山県	・7/13、14、16、24 審査サポート6社	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ~ 12	2 ~ 8	1 ~ 5	60 ~ 100		○				
京都府	8 ~ 12	1 ~ 2	1 ~ 4	80 ~ 120			○			
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
兵庫県	6 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	60 ~ 90			○			
奈良県	~	2 ~ 7	1 ~ 3	70 ~ 100		○				
和歌山県	6 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	40 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	鋼材価格はますますの値上がり。10月以降も+10/kgの発表がされ、11月以降も更にUPが懸念される。現状の見積もり特に鋼材費には注意したい。突貫工事や小規模物件においても油断はNG。材料・HTBの納期を確認の上、交渉が必要。しかし直前に入荷されない等の問題は今後更に大きな問題になると予測される。オリンピック後の工事予定は来年度も堅調の見込みだが鋼材入手がカギを握る。
京都府	相変わらず鋼材、ボルトの値上げ要請が続いています。鋼材の入手難も本格化し今後の受注に響きそうです。業界を上げメーカーに要望して頂けないでしょうか。特定の材種について無いのが大きな問題。受注活動への影響大。また流通サイドに主導権を握られている感覚が拭えない。発注者や商社流通から無謀な指値又は納期が出ているのを散見する。耐える時だと感じる。見積金額が上昇し仕事をとれるか不安。秋以降の見通しがつかない。鋼材の高騰、納期の先延ばしで更に状況は悪い。
大阪府	鋼材費の急騰は当分の間止まらない様子である。客先に材料費の上り幅分をそのまま受け入れてもらえない為、見積の値入れも難しい。更に、鋼材、鋼板の調達に苦労している。先の見通しが掴めない状況である。
兵庫県	鋼材の高騰が続いている。BCPは勿論のことBCRもよく使われるサイズが品薄で、納期を尋ねてもまともな返事がもらえない状態で見積もりにも影響している。材料の入手難で仕事があっても受注が困難な状態になるという事態は避けたい。価格は勿論のこと材料の安定した供給を望む。
奈良県	・単価は下がったまま、物件が動き出したように思える。Mグレードに適す、300~600t辺りが少ない。 ・(同じような現状として)夏から秋に掛けて、物件がすごく出て来た為、忙しくなって来ています。 ・鋼材単価の値上げならびに、入荷難などの心配事が多く、ファブによっては見積依頼も少ない状況。
和歌山県	鋼材については、価格および入荷状況を引き続き注視していきたい。 秋から来春頃の案件も鋼材単価が決まらないので物件受注まで至らないという状況。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年8月分)

(A)

提出日 令和3年9月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県		《第1回近畿理事長会》 8月27日(金) 14:00 ~ 16:30 兵庫県鉄工建設業協同組合会議室
京都府	・R2後期工場審査延期分 2社 8/4、8/5 ・8/18・19 特定化学物質作業主任者技能講習会	
大阪府	8/18 第2回定例理事会 8/30 令和2年度後期延期分の工場審査 1社	
兵庫県	・前期工場審査 3社 8/2、8/4、8/5	
奈良県	・8/6 工場審査 ・8/20 共済・経営近代化委員会 ・8/24 三役会・理事会	
和歌山県	・8/2 近代化委員会 ・前期工場審査 5社 8/10、8/11、8/17、8/20、8/23	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%) 稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ~ 12	2 ~ 8	1 ~ 4	60 ~ 100		○				
京都府	9 ~ 12	2 ~ 8	1 ~ 4	80 ~ 120		○				
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
兵庫県	8 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	60 ~ 100		○				
奈良県	~	3 ~ 6	1 ~ 3	70 ~ 95		○				
和歌山県	6 ~ 12	1 ~ 5	1 ~ 3	40 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	前月同様、見積もり案件は来春～夏季にかけての動きは活発化している半面、年内物件の案件は少量か。依頼があった場合も中規模物件の鋼材納期が不安定で希望納期に合わせられない状態が懸念される。各鋼材種のリードタイムを(現在・3ヶ月後は?)など)状況に応じた予測と把握を行う必要が有る。価格も同時変化をおこす為、同様に見積もり反映させる事が必要。小規模設計事務所など個人事務所などは未だ納期・価格の把握はして頂いていない為、客先含め丁寧な事情説明と共に新規物件の工期把握の一助になる活動が求められる。
京都府	受注残があるので仕事はある様に思いますが材料入手難で工事は取りにくい状況。但し仕事(大型物件)は引合有り(1000t～3000t)規模。秋から春にかけて見積は出てきたが、鋼材の供給不安で受注が思うように進められない。鋼材費、副資材費の高騰とサイズによる欠品や納期遅延が起きており引合時に再見積もり、工期見直しなどをお願いしなければならず受注が厳しくなっている。単価、納期共に工期が長い大型案件を追いかけるよりも工期が短い中小案件を中心に営業を行っている。見積は少し出てきたが鋼材納期が不透明の為。受注できるかは、鋼材価格と納期が課題となっている。値段交渉が難航し材料手配に苦労。先行きは非常に悪い。
大阪府	建築用鉄骨の入手難が続いている。それに伴い鉄の値上げも止まらない状況。仕方なく高値で購入しようにも必要な鋼材が揃わないので加工ができない。更には受注が出来ないところも出てきている。来年の物件の依頼は多いが、鋼材単価高騰で、受注単価が決められない難しい状況である。
兵庫県	相変わらず鋼材(H型、コラム共)の高騰に歯止めがかかっていない。納期もはっきりした返事がもらえない状態で、工程的にも影響が出ている。短納期の物件は非常に話がしにくい状況で仕事がしたくても受けることが出来ない事例も出てきている。
奈良県	・仕事量が少なく、鋼材価格の高騰や不足の状況。先日ヒアリングされましたが、今後も注視が必要。 ・各社により、受注量のバラツキが有り、相互の情報交換が必要になって来ると思われます。 ・材料の値上げや入手困難が続く、HTBも再び入り難くなり、秋～冬に物件が増えても困る事態です。
和歌山県	BCRコラム、ボルト、PLの入手難が続いている。何とか安定供給出来ないものか。 ボルトも事前に仮押さえていても、直前に納期が間に合わなくなるとか、PLの原板がロールアップが遅れているとか納期調整に追われる状況。 最近概算見積りが増えてきている。今後予算が合わず中止や延期になる物件が増えてくるのでは。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 7月分

(A) 提出日 2021年(令和3年) 8月11日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等
鳥取県	9日(金) 26日(月)	東部支部例会 「溶接ヒューム」規制対応講習会	14日(水) 中国支部会(広島) (米森会長・小貫専務理事 ご臨席)
島根県	7日(水) 21日(水)	工場審査 1社(益田市) 役員会(出雲市)	
岡山県	29日(木)	工場審査 1社	
広島県	21日(水) 2・5～7・9日 12・13 27～30日	三役会・理事会 工場審査サポート 5件 工場審査 6件	
山口県	1日(木) 5日(月) 7日(水) 21日(水) 26日(月) 30日(金)	工場審査 1社 工場審査サポート 1社 工場審査 1社 第2回理事会 工場審査サポート 1社 工場審査 1社	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4～10	2～5	1～3	80～100		○				
島根県	6～7	2～5	0.5～2	60～100		○				
岡山県	6～14	2.5～10	3	30～100			○			
広島県	8	4～7	1～4	50～110		○				
山口県	4～5	1～3	1～3	70～100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	材料の高騰と調達に困難となっており、年末までは何とか仕事は確保しているが今後の受注が危ぶまれる。Hグレードも来夏くらいまでの受注があるものの図面決定がずれており、納期のために残業時間が増えることがありコストアップになってしまう。また役所工事ではコロナウイルス感染者が出ると工事が止まってしまう、建て方に支障がでて置き場の確保が必要となってくる。又、計画中の案件もコスト及び工期がずれたり中止になることも懸念されるので、お互い詰めた話し合いが必要とおもわれる。
島根県	見積・引合いが徐々に増えてはいるが、鋼材の入手難並びに価格上昇が続いており、採算面に於いて厳しく受注・予算組みが難しい状況となっています。非常に不安を抱えながらの受注活動となっております。
岡山県	仕事が少ないところもあるが、全体的には見積もりも若干増えて動きが出てきて上向きの状況。しかし、折角仕事動き出したのに材料の価格は上がったままで、入荷未定のボルトもあり、材料等の調達に時間がかかるので注意が必要である。
広島県	今月は、稼働率100%以上の回答企業が65%、70～90%の回答企業が30%となり、稼働率は徐々に上昇してきている。手持ち工事量では、Hグレードは8月を確保し、Mでは4～7月、R以下は1～4月と、引き続きグレード間格差は顕著な状況。見積もりの増加等、鉄骨需要回復の兆候は現れているものの、鉄骨価格は依然として低迷を続けており、鋼材の値上げや入手難等への強い不安と懸念の声が多数寄せられている。鋼材の値上げと入手難は、長期化が予想されるので、受注に当たり、動向を十分に踏まえて、慎重な見積りが不可欠。需要回復を目前にして、上昇する鋼材費が加工費を圧迫することのないよう、適正な鉄骨価格確保に力を合わせて取り組みたい。
山口県	Hグレードでは稼働率70%程で先月と変わらない状況だが、設計見積が若干増えてきたと話す。M・Rグレードでも大型物件は無いものの幾分市場が動き出したように感じるとの声があり、改修工事等の見積り依頼が増えてきている様子。自社物件と同業者の手伝いで忙しかっていると話すファブもいる。鋼材・ボルト・デッキの手配が困難で、特にコラム物件は慎重に対処している。鋼材価格が不安定なため見積金額が確定できず、市中の仕事量が少ない上に鋼材・消耗品の価格が高騰している中、受注の価格競争が厳しくなると先行きが不安だが、オリンピックが開催されたことで今後の経済情勢が良い方向に向かえばと思う。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 8月分

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中国支部活動・行事等
鳥取県	24日(火) 工場審査 1社	18日(水) 全青会:中国ブロック役員会 (リモート)
島根県		
岡山県	4日(水) 工場審査 1社 19日(木) 理事会(岡山市)	
広島県	2日(月) 工場審査 1件 25日(水) 鉄骨製作管理技術者 更新講習	
山口県	5日(木) 溶接ヒューム濃度測定実演説明会 10日(火) 第1回役員会(青年部会) 20日(金) 工場審査 1社	

提出日 2021年(令和3年) 9月6日

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3 ~ 10	2 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 110		○				
島根県	5 ~ 6	2 ~ 3	0.5 ~ 3	80 ~ 100			○			
岡山県	7 ~ 10	3 ~ 8	3	60 ~ 100			○			
広島県	10 ~ 11	2 ~ 5	0 ~ 3	40 ~ 100		○				
山口県	4 ~ 5	1 ~ 5	1 ~ 3	75 ~ 110			○			

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	見積もりは少し増えてきたが、鋼材の納期と価格上昇で決定が難しくなっているため鋼材の値上げはやむを得ないとして、納期に関しては業界として申し入れをおねがいがしたい。ゼネコンの受注も競争が厳しくなっているところに仕入れ価格の上昇で断念する物件も出ているようなので、ものがないと受注ができなく経営に支障がでるとも思われる。またHグレードでは受注している物件も鋼材の遅れで山谷が多くなっているところもあるようだ。引き続き納期と鋼材・副資材の値上げに注意しての受注活動が必要。
島根県	年内の仕事量については、ほぼ確保出来ているが、鋼材の入手難(特にコラム)並びに価格上昇が続いており、採算面に於いて厳しく受注・予算組みが難しい状況となっています。今後、コラムの品薄状態が続けば、コラムHの中小物件が減少することが現実味を増して来ると思われる。そうなれば、競争原理が働き受注価格下落の要因にも繋がりがかねない。鋼材の安定供給に向けて、業界全体としてメーカーに強く要望を発信して欲しいとの声が多く出ている。
岡山県	仕事が少ないところもあるが、全体的には見積もりも増えて動きが出てきて上向きの状況。材料の価格は上がったままで、入荷未定のボルトもあり、材料等の調達に時間がかかるので注意が必要である。また、岡山県は独自に取引先宛てに材料等の調達についての文書を作成した。
広島県	今月は、稼働率100%の回答企業が約40%、70~90%の回答企業が50%となり、稼働率は前月に比べ微減で伸び悩んでいる。手持ち工事量では、Hグレードは10~11か月を確保するが、M以下ではほぼ4か月以下と、引き続きグレード間格差は顕著な状況。鉄骨需要増加の兆候は現れているものの、GC同士の落札競争は引き続き激しく、物件の決定遅れと鉄骨価格の低迷は解消されていない。加えて、鋼材やボルトの長納期化と価格上昇が顕著になってきており、納期と価格の両面から、受注をためらう動きが広がっている。需要の本格回復を目前にして、材料の安定供給と、採算が確保できる鉄骨価格確保が最大の焦点となっており、GCや設計事務所等に組合を通じ、材料の長納期化や価格上昇等の現状について、積極的な情報発信を望む声も上がっている。
山口県	Hグレードでは先月同様に75%程の加工状況で、来月も物件はあるものの100%の稼働率にはならないと話す。見積りは若干あるが、依然少なく設計見積が多い。M・Rグレードでは地域でばらつきがあり、稼働率100%で忙しかけていると話すファブと新規案件が改修工程度程度の小口物件しかなく地域差を感じていると話すファブがいる。また、先月同様に組合員の協力案件で繋いでいると話すファブもいる。鋼材の価格上昇のわりに工事価格が下がる傾向にあり、採算ベースを割り込むような物件も増えてきている。重機・運搬の手配は支障ないが、鋼材・ボルト・デッキの手配が困難で、高工の手配も若干厳しい。鋼材・HTB・溶接材料・ガス等全ての値上げ要求をされている状況で、既に取り決め済案件の金額差異が発生し加工費を圧迫している。また、それらの価格上昇が続いているため見積の作成に大変苦慮しており、受注に影響を与え始めている。より一層、製作と現場の効率化を考えなくてはならない。仕事量は今後少しずつ回復基調かと思われるが、コロナ感染が一段と加速され、先が見えない状態が続くのではないかと懸念している。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)7月分

(A)

提出日 令和3年8月11日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	19日(月) 溶接ヒュームの規制について説明会 第4回情報交換会・理事会 ・性能評価工場審査 3件	
香川県	6日(火) 工場審査 7日(水) 工場審査	
愛媛県	6日(火) 理事会 中旬以降 役員による地元工業系高校・訓練校へのポスター配布 31日(土) 青年部臨時総会	
高知県	16日(金) 理事会	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 6	~ 3	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 7	~	80 ~ 100			○			
愛媛県	3 ~ 12	2 ~ 5	2 ~ 4	90 ~ 100	○					
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	見積り物件は、前月比33%の減少。少ない状況が続いている。材料が高騰してきている。また物によっては入手困難になってきている。安値受注は絶対に避けるべきである。秋以降、先行き不透明。
香川県	全体的としてはFAB間格差はあるが前月より状況は良くなっている。しかし、県内のゼネコン・設計事務所とも見積り件数は少なく地場ゼネコンの仕事量は少ない。また、鋼材・副資材の高騰、納期の長期化が懸念され厳しい状況が続いている。
愛媛県	現状、受注量は各グレードともに順調に確保出来てきているが、板材の不足からかBCRの品薄感が広がっており、見積りから短時間で受注決定する100~200tクラスの物件で材料入手難が出始めており、業績回復期の材料入手難は痛手である。
高知県	見積り件数は前月よりは増加したが、まだまだ少ない状況である。価格も厳しい状況。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)8月分

(A) 提出日 令和3年9月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	4日(水) AW検定準備講習会 10日(火) 第5回情報交換会 21日(土) AW検定(合同) 27日(金) 大日本塗料との塗料会議	
香川県	4日(水) 第3回理事会(中止) 6日(金) 溶接ヒュームばく露測定講習会(中止) 25日(水) R3年度後期工場審査打合せ	
愛媛県		
高知県		

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 5	~ 4	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 6	~	80 ~ 120			○			
愛媛県	3 ~ 12	2 ~ 5	2 ~ 4	90 ~ 100		○				
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	8月の物件報告数は、前月とほぼ同数だが県内工事件数は88%と減少している。材料費の高騰と材料入手の時期に注意が必要。来年度の仕事が不透明。
香川県	前月より仕事量は増加傾向にあり、全体的には稼働率はアップしている。しかし、主鋼材・副資材等の高騰、納期の長期化の影響で見積り試算が非常に難しく大きな課題となっている。
愛媛県	組合員各社稼働率は作業時間内ほぼ100%で推移している。また、上位グレードでは残業での110~120%操業の工場も。ただ、鋼材の納期長期化の影響が中小物件程大きくなってきており、業績回復期に水を差しかねない。
高知県	前月よりは見積もり件数は増加している。鋼材の高騰、納期の長期化がさらに問題となっている。

＜九州支部＞ 状況報告書

2021年(令和3年) 7月分

(A) 提出日 令和3年8月4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	7/8.13.15.21.28(5日間) 性能評価工場審査(計7工場 H2社、M5社) 7/14.17 ダイヘンD-Arc技術懇談会(リモート)	・7/1 第3回支部事務局WEB会議
佐賀県	7/2・9 審査サポート 7/6・13 工場審査 7/15 第3回 定例理事会 7/19 国政報告会(足立議員)出席	
長崎県	・7/6 前期工場審査(1社)、7/9 D-Arcリモート技術懇談会、7/14 臨時・第6回理事会、 7/16第4回総務・経営対策委員会、7/21第4回講習会WG会議、7/28 第7回 理事会・例会・臨時総会、7/30 鉄骨研究会 第1回専門委員会(WEB)	
熊本県	7/6 認定サポート部会 7/7 認定サポート部会 7/13 理事会・定例会 7/14,16,20,27 工場審査	
大分県	7/9第2回青年部役員会 7/12, 13, 14 UTLヘル1学科指導・超音波探傷器Gタイプ 実技指導 7/15三役会・理事会・認定部会(対面・WEB併用)	
宮崎県	7/2 鉄工加工技能講習会開催 7/9 中央会事務局連絡会議総会出席 7/13 工場パトロール(3社)・第2回理事会開催 7/16・19・20 認定サポート 7/30 自民党県連ヒアリング(要望活動)会参加	
鹿児島県	7/21・7/27・7/29性能評価工場審査	
沖縄県	・7/6日:定例理事会、13日:営業部会、	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
福岡県	3 ~ 8	2 ~ 5	1 ~ 2	70~100		○				
佐賀県	6	1 ~ 7	1 ~ 4	50~100		○				
長崎県	4 ~ 8	2 ~ 5	—	40~90			○			
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	85.9			○			
大分県	7	1.5 ~ 4	—	65~100			○			
宮崎県	4 ~ 6	1.5 ~ 4	1 ~ 3	80~100		○				
鹿児島県	4 ~ 12	1 ~ 8	0.5 ~ 1.2	60~120			○			
沖縄県	1 ~ 2	1 ~ 2	1	70~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	急激な鋼材価格の高騰及び副資材等の値上げ、高力ボルトの品薄等による今後の影響が懸念される中、新型コロナウイルスの感染拡大に収束が見えず、今後の組合事業等の実施に見通しが立たない状況
佐賀県	・鋼材価格の高騰と長納期が継続している。又、受注価格も低迷している。 ・材料(コラム)の納期が厳しくなっており、受注に影響が出ている。
長崎県	・見積り件数は増加傾向。鋼材価格の高騰で、価格交渉が合わず契約がまとまらない。 ・現状は厳しく、先行きも不透明な状況。組合員の連携を重視していきたい。 ・新規物件には物価高騰に合わせ価格交渉を頑張っていきたい。
熊本県	概算見積りが少し増えてきた。指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。公共工事のRC化が進んでいる。
大分県	◎鋼材高騰が止まらない。量にもよるが入荷にくい。◎鋼材価格の高騰に伴う見積金額の上昇を客先にどこまで認めて頂けるかが今後の営業上の課題です。◎見積が多くなってきたので来年の仕事量に期待したい。年内の仕事は確保できそう。
宮崎県	・見積り件数、工事量ともに増加に転じているが加工費は改善が見られない。 ・鋼材の価格高騰や入手難、また、ボルトの調達具合等々不安要素が多く今後の動向に注意が必要。
鹿児島県	図面決定が遅く工事が重なることが多発しており、材料費の高騰、納期、品不足と懸念が尽きない。見積りには有効期限を明示し、価格交渉は粘り強く! HTB不足問題の二の舞にならないよう全構協にも対策をお願いしたい。
沖縄県	・見積り件数は先月より少なく仕事量は薄いまま、秋口から増えてきそうな気配はあります。

＜九州支部＞ 状況報告書

2021年(令和3年) 8月分

(A)

提出日 令和3年9月3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	8/4 理事会 ⇒ 延期 8/23 福岡県建築鉄骨協議会 ⇒ 延期	・8/17 第4回支部事務局WEB会議 ・8/23 第5回支部事務局WEB会議 ・8/26 第3回支部理事会WEB会議
佐賀県	8/19 三役会議 8/25 労働基準協会との打合せ	
長崎県	8/3 第4回性能評価WG会議、8/25 第5回講習会WG会議	
熊本県	8/4ダイヘンD-Arc技術懇談会(リモート) 8/20 認定サポート部会 8/24 理事会	
大分県	8/11第1回青年部三役会	
宮崎県	8/3・5 工場審査(3社)立会業務 8/6 青年部会幹事会開催 8/20 鉄工加工技能向上(実技)講習会開催 8/25 ダイヘンD-Arc技術懇談会参加(リモート)	
鹿児島県	8/2・8/4・8/6性能評価工場審査 8/26三役会	
沖縄県	・8/4日:定例理事会、10日:営業部会	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
福岡県	3 ~ 8	2 ~ 5	1 ~ 2	70~100		○				
佐賀県	6	3 ~ 6	1 ~ 3	40~100		○				
長崎県	4 ~ 8	2 ~ 5	—	50~80		○				
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	89.3			○			
大分県	6 ~ 8	1 ~ 4	—	65~100		○				
宮崎県	4 ~ 6	2 ~ 3	1 ~ 2	70~100		○				
鹿児島県	4 ~ 12	1 ~ 6	1 ~ 1.5	40~120			○			
沖縄県	1 ~ 3	1 ~ 2	1	50~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	仕事量は増加傾向にある中、鋼材の高騰と納期の問題等で受注に大きな影響が出てきている。また、4回目となる福岡県下への緊急事態宣言の発出により、組合事業の延期や中止が相次ぎ、今後見通しが立たない状況。
佐賀県	・鋼材価格の高騰で受注が厳しくなっており、工場加工に空きが出ている。 ・材料の価格、納期の状況が読めない。また、低単価での受注が散見される。
長崎県	・見積り件数は増加傾向だが鋼材価格の高騰で、価格交渉に努力が必要。 ・現状は厳しく、受注量は少ない。工場を何とか動かしている状態。 ・新規物件は出てきている気配がある。価格交渉を頑張っていきたい。
熊本県	概算見積りが少し増えてきた。指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。公共工事のRC化が進んでいる。
大分県	◎現状工事自体は減ってはいるが大型物件が増えている。単価はかなり安く受注するFABが増えているのが実情。◎鋼材、HTB入荷に時間がかかる。◎鋼材、特にBCP,BCRの市場調達に難しい。又ロール期間が長い為、対応が出来ないケースも発生している。
宮崎県	・鋼材価格高騰と長納期化に加え高力ボルトの品薄と、受注環境が悪化している。 材料の早期手配や価格上昇分の転嫁等元請や発注元にどの程度まで理解して頂けるのか課題が山積している。
鹿児島県	鋼材の手配が難しくなり欠品多数。HTBは予定日に入荷せず、全のお手上げ状態。価格の値上がりはやむを得ないとしても納期については各メーカーに対処していただきたい。
沖縄県	・鋼材、副資材等の価格高騰が予想以上で単価設定の判断が難しい。鋼材入手が困難になっている。工場稼働が各社によってバラツキがみられる。コロナ対策の影響で工事の遅れがあり工場の調整が難しい状況。